

# 伝習館



東京同窓會會報

創刊号 2003.1.1



伝習館水泳部の最も輝いた日  
伝習館陸上競技部の最も輝いた日  
柳川へ…各駅停車の旅

優勝伝習館！校旗は何処へ  
伝習館掲示の源を訪ねて  
— 中国江西省紀行  
東京で見られる柳川のさげもん

## 表紙

題字は母校伝習館に掲出してある創立者立花鑑賢公の書の扁額の文字を、会長の江崎正直氏（高2）が臨書したものである。

桜の絵は綿貫直諒画伯（高14・在イタリア）の油絵。同期の学年幹事吉田（堤）節子さんのご尽力により使用許可を頂いたもの。（本文27頁参照）

### 綿貫直諒画伯 略歴

昭和20年	三橋町生まれ
昭和38年	伝習館卒
昭和44年	東京芸術大学油画科卒
昭和46年	〃大学院修了
昭和56年	大牟田・井筒屋にて個展
昭和57年	渡伊
昭和59年	大牟田・ガーデンホテルにて個展
昭和61年・昭和63年・平成2年・平成4年・平成6年・平成8年・平成10年	いずれも松屋銀座にて個展
平成7年	大牟田松屋にて個展
平成15年	松屋銀座にて個展開催予定

——同窓の皆さん多数ご来場下さい

# 伝習館



# 東京同窓会会報

## 東京同窓会本部より

東京同窓会を活性化しよう！「江崎新会長インタビュー」 .....編集局 .....	2	
「東京同窓会」会報発刊に寄せて .....	伝習館同窓会 会長 立花寛茂 .....	3
東京同窓会に期待するもの .....	校長 神坂貞幸 .....	4
東京同窓会総会 .....	副会長 松永肅 .....	5
新・副会長のプロフィール .....	松永肅／原田万紗子 .....	6
「時折御下風あそばさるべし」		
一服部幸應 先生（食育のすすめ）講演要旨 .....	編集局 .....	7
孔子三像体面式に寄せて		
(二松学舎大学学長・斯文会理事長 石川忠久) .....	.....	9
前会長一名誉会長一のプロフィール .....	江口三千雄 .....	9
総会へのご提供品あれこれ .....	編集局 .....	10

## 先輩・後輩よりーその1

優勝伝習館！校旗は何処へ .....	高1 永江政勝 .....	15
伝習館水泳部の最も輝いた日 .....	高3 酒井清行 .....	17
伝習館陸上競技部の最も輝いた日 .....	高28 吉開孝人 .....	21
桜と原監督の色紙 .....	高14 吉田節子 .....	22
伝習館掲示の源を訪ねてー中国江西省紀行ー		
安東省菴頭彰会会長 .....	高17 立花民雄 .....	23
柳川へ・・・各駅停車の旅 .....	高21 白谷政則 .....	24
東京で見られる柳川のさげもん .....	高10 永倉素子 .....	25
嬉しい出会い .....	中56 成清良孝 .....	25
山登りの楽しみ .....	高10 大島喜代子 .....	26
関西と関東の同窓会に思う .....	高12 甲木宏明 .....	27
同期のゴルフ仲間 .....	高10 森永邦彦 .....	27
2002秋雑感 .....	高23 坂本智臣 .....	28

## 先輩・後輩よりーその2

昭20年入学の皆さんへ .....	高2 小野善睦 .....	29
高3生情報 .....	高3 酒井清行 .....	29
ふくの会 .....	高5 岸栄洋・岸洋子 .....	29
高6回卒から .....	高6 石橋修 .....	30
一風かわった同期会 .....	高7 田中敬之助 .....	30
ムツゴロウ会のこと .....	高9 石橋淑子 .....	31
柳川同期会のご紹介 .....	高10 内山秀生 .....	31
東京35会のお知らせ .....	高11 北原博 .....	32
昭和36年卒・12回生の還暦同窓会 .....	高12 橋本寛治 .....	32
予告！高13会卒還暦記念同窓会に		
参加しましょう！ .....	高13 田中利道 .....	32
高16回卒の皆様へ .....	高16 梶島正司 .....	33
メールで連絡を .....	高35 山口英治 .....	33

## 故郷トピックス .....

次号予告・募集 .....	.....	36
編集後記 .....	.....	36
東京同窓会会則／東京同窓会組織図 .....	.....	37

# 東京同窓会本部より

江崎新会長インタビュー

## 東京同窓会を活性化しよう！



—この度は会長就任おめでとうでございます。この四月末で会社関係の総ての役職を退き、悠々自適—仲間うち

での「俚謡の栄直」（栄直は会長の雅号）という評価通り、「遊雅」の世界に没入するのかと思っていたら……—また念願の世界の美術館めぐりの方はどうされるんですか？ 会長を引き受けたいきさつなど聞かせて下さい。

江崎—副会長にならされたのが四年前のことです。東京同窓会というのがあることは知っていましたが、それまで一回も出席したことはありませんでした。平成十年の総会に初めて出席したら、江口会長からいきなり「お前、副会長をやれ！」と皆さんの前で宣告され、引っ込みがつかなくなりました。異例のことでしょうね。

まあ、美術館めぐりの方は今まで東京の故宮博物館、ルーブル、エルミタージュ、フィレンツェなど巡りましたが、今後も年間二回のペースで続けたいと思っています。会長を引き受けてもその位の余裕はあるでしょう。

それで、皆さん方の賛同を得て、若返りにしては少々年を取り過ぎて

はいますが、会長をお引受した次第です。江口前会長からは二十二歳の若返りですね。

—と言いますと、江口前会長（中学36回・今回名誉会長に就任）と会長（高校2回）とは以前から面識のあったツ？

江崎—はい。もう七年になりますかね。南筑後の在京有志で、五十年も続いているという月例昼食会「みろく会」というのがあり、それに出席するようになってからです。ただ江口さんのお名前だけは、郷里の大先輩というところで、ずーっと以前から父に聞かされて、知っていました。

—たしか、お生まれは三明橋の近くでしたね。

江崎—そうです。沖端から三明橋を渡ってすぐ、昭代の古賀です。家の前が沖端川で、小学校・中学校時代の夏休みは、ヘコイッカンで真っ黒になって……ワラスボ捕りの名人でした。江口さんの出身地はすぐ隣の諸藤で、僅か五〇〇メートルしか離れていません。勤めた会社が同じ三井系の金属と化学。奇しき因縁を感じます。

—小学校卒業時は何か特別表彰された上で、中学伝習館に合格されたと聞

いておりますが。

江崎—昭代第二小学校の成績は抜群だという事で、卒業の時に「中村賞」なるものを貰いました。これは三瀬郡内にある全小学校代表男女各一名が授与される名誉ある賞です。柳河・城内の方の「とんさんごほうび」に匹敵するものです。大川市で行われた授賞式で蒲池小学校から池上正則兄（前柳川市助役）も来ていたのを覚えてます。

—そんな訳で伝習館合格は当たり前と多少鼻が高くなりました。ところがところが！伝習館の一学期を終えたところで、成績が三〇〇人中なんと七〇番。自慢の鼻もへし折られ、がっくりきました。昭代村は三瀬郡の一番南のはずれで、有明海に面した文化果つる後進地域であることを如実に思い知らされ、一時は劣等感に陥りましたよ。

—九大への進学では親御さんの猛反対があつて大変だったとか？

江崎—その通りです。高校二、三年生の時は担任がウッシャンこと小柳親先生。キッチャンこと平川吉一先生と二人三脚で進学指導に熱心でした。その頃は私の成績も良くなっていたので、ウッシャンから熱心に九州大学受験を勧められました。まだ戦後の混乱期で父は根っからの商売人。「学問ではメシは食えん」が口癖で、兄と二人で家業の衣料品商を継げと受験を認めません。ウッシャンから父兄会で会った父に「試験だ

けは受けさせて下さい」と懇願して  
載いてやっとうOKができました。受験  
したら合格ということで、それから  
が大変です。頑固親父は「受験だけ  
の約束じゃった。約束は約束！」と  
頑として、ウツシヤンの熱心な進学  
の勧めにもテコでも動かず、聞く耳  
持たぬという状態です。たまりかね  
たウツシヤン先生は、私と親しかつ  
た数名の学友を動員しました。堤陽  
太郎、石崎知見、大橋貞夫、故人と  
なった清水一行などの諸兄が泊まり  
込みで説得に当たるといふ一幕もあ  
り、熱意に動かされてとうとう父も  
許可してくれました。入学願書は締  
め切りギリギリで間に合いました。

恩師と親友のおかげで、今の私があ  
ります。皆さんの恩情に心から感謝  
しています。人生最大の岐路でした。  
——社会人生活はどうでしたか。正義感  
の強い、直言を辞さない、お名前通  
りの性格の会長ですから、必ずしも  
順風満帆とは行かなかつたのでは？

江崎——九大を出て、東洋高圧（現三井  
化学）に入社しました。私どもの時  
代は丁度日本の高度成長期に当たり  
ます。家族を顧みる暇とてなく、が  
むしやらに働きましたね。忙しいば  
かりの四十七年間に及ぶ会社生活、  
下関を振り出しに東京、再び下関、  
大牟田、茂原、また東京と六回も  
転々となりました。

仰る通りの性格ですから、遠慮な  
く上司にもモノ申すので子会社へ行  
かされたり紆余曲折があり会社を辞

めようかと思つたことが何度かあり  
ましたよ。地方では工場長を務めた  
り、最後の関東天然瓦斯開発株式会  
社の社長時代などは工場のある茂原  
市など、地元との緊密な繋がりを重  
視してきました。

今でもそれぞれの地元の方々との  
親交は続いています。下関市などは  
市の観光PRにも協力してほしいと  
「海響大使」なる肩書き入りの名刺を  
使うようにと、頂戴しております。

会長が指向されている東京同窓会の  
活性化というのとは具体的にいうと、  
どんなことになりますか？

江崎——今までの歴代会長は大物揃い  
で、良くも悪くも「オレについて来  
い！」のワンマン方式でした。私は  
小物だから大きなことは出来ませ  
んが、去る七月の総会で認めて頂いた  
会則に従つて、総て組織的に運営し  
ようと思つています。学年幹事会を中心  
に、重要事項を協議し決定し進めて  
いきます。先立つものも必要ですか  
ら、会員の皆様に賛助金つまり自発  
的募金をお願いしたいと思つています。  
また「東京同窓会会報」を発行して  
会員相互、母校との連携を密にし、  
理解を深め、楽しい開かれた求心力  
のある同窓会にして一層交流の輪を  
広げて行きたいと思つています。同じ福  
岡県の小倉高校や修猷館なども似た  
ような方式で盛大にやっております、負  
けないように、皆さんとの絆を強く  
して次の世代に引き継ぎたいと思つ  
ています。

——会報発行とは楽しみですね。

江崎——同じ学舎に学んだご縁を大切に  
して、老いも若きもお互いに助け合  
い、支え合つていくのが同窓会の良  
いところですよ。母校への恩返しと思  
つて私も頑張ります。会報を通じて  
会員相互のみならず、母校や郷里の  
情報などもお知らせして行きたいと  
思つていますので、ご愛読頂き、皆さん  
の方からも積極的にご投稿して頂く  
など、ご協力をお願いします。

最後になりましたが、私が四十七  
年に及ぶ会社生活を卒業するに当た  
り、畏友の小野善陸兄より贈られた  
漢詩をご披露して謝意を表します。

寄 栄直挂冠 斜庵 作

癸酉 元朝 生 瑞雲  
清風 正直 柳川 春  
出門 立志 逢 佳節  
疾走 飛翔 如 鳳麟

癸酉の元朝 瑞雲生じ、  
清風正直なり 柳川の春。  
門を出で 志を立て 佳節に逢えば、  
疾走し 飛翔すること 鳳麟の如し。

【注】 題「栄直の挂冠に寄す」

- ・ 栄直 江崎正直の雅号
- ・ 挂冠 役職を退くこと
- ・ 癸酉の元朝 昭和八年元旦、江崎正直  
の誕生日
- ・ 清風 清らかな風格
- ・ 正直 心が真っ直ぐで正しい
- ・ 鳳麟 大鳥と麒麟、めでたいしるしの  
鳥獣。

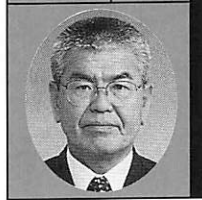
伝習館同窓会  
会長 立花寛茂



「東京同窓会」会報  
発行に寄せて

この度は東京同窓会の会報発行、誠に  
おめでとうございます。然もそれが平成  
十五年のお正月というのは、大変楽しく  
素晴らしいものだと思います。東京同窓会  
といえばまだ私達が伝習館の生徒だった  
当時（昭和三十二、三年頃）授業中によ  
く先生から「お前達がそげんどうろこう  
ろやったら東京同窓会に申し訳が立た  
ん」ちゆうておこられよつた事を思い出  
します。正直言つてその当時は東京同窓  
会が何んたるものかも分りませんでした。  
た。その頃はすでに先生方や先輩の皆様  
にとつては「東京同窓会」が大変大きな  
存在であつたのに間違ひはありません。  
それが未だに連綿と続き更に次の世代の  
卒業生に引き継がれていくという事は本  
当に凄い事だと思つています。  
毎年伝習館では三月の卒業式の前日に  
卒業生に対して「同窓会入会式」という  
ものが行われています。そして晴れて同  
窓会の一員となつたかなりの卒業生が進  
学の為上京しております。私もかつて親

校長 神坂貞幸  
東京同窓会に期待するもの



から「どここっちゃ良かけん東京の大学さん行け」と無責任に言われた記憶が有りますが、その当時と違って地域が小さくなった、日本が狭くなったと言っても東京は東京です。夢や希望に胸をふくらませていくでしょうが、不安も一杯抱えている事と思います。迷った時、困った時一番心強い頼りになる存在の一つが東京同窓会だと思います。これからの日本を背負って立つ若者達にぜひ力を貸して下さい。お世話になった若者達が、きっと将来は当り前の様に彼達の次の世代に手を差し延べてくれるものと信じております。

母校伝習館の為、そして郷土柳川の為にも江崎会長を中心に東京同窓会が益々発展致しますと共に、皆様方の御健勝、御活躍を心から祈念申し上げます。

プロフィール

立花 寛茂  
(たちばな ともしげ)

昭和十五年七月五日生れ  
昭和三十四年伝習館卒(高十回卒)  
同三十八年成城大学卒  
三十八年(株)鬼怒川温泉ホテル勤務  
四十二年より(株)「御花」勤務  
現 (株)御花代表取締役会長  
柳川商工会議所副会頭  
柳川観光活性化協議会会長

過日は東京同窓会にお招きくださり、有難う御座いました。服部氏の「食育のすすめ」、卒業生筑場さんによる「白秋の歌」、和氣満々の会食と、初参加の私にとりまして、楽しい至福の一時を過ごさせて戴きました。皆様方と一面識も無い私が、伝習館を介して近々しくお話できまして、教師冥利に尽きるものと、御歓待に改めて感謝申し上げます。

さて、この度の総会を機に、長年に亘りお世話戴きました江口会長が御勇退になり、江崎氏が新会長に就任されました。江口前会長の長年の御労苦に深甚の謝意を表しますと共に、江崎新会長の下、東京同窓会が益々隆昌発展されますようお願いして止みません。江崎会長には、早速、平成16年1月実施予定の2年生修学旅行東京研修における御協力をお願いした次第でございます。

ところで、第2回卒業記念誌「橋蔭後あり」支部だよりの冒頭に「東京星座」のおいたちなど、という達文があります。昭和56年4月現在で第8号を発刊するに至ったと書かれ、「この記念誌発行以降は、広く感想文や現況報告、人物往来なども取り入れて東京地区の声の広場的なものにしていくよう努力する。」と結ばれております。本年6月送って戴いた64号はまさにその通りの内容になってお

り、着実な前進を感じます。在京の皆様方と柳川・伝習館・友垣を結ぶ貴重な絆として、また先輩から後輩への教えの場として「東京星座」が果たしてきた役割は計り知れないものがあると拝察します。畢竟この星座発行の継続と充実が、東京同窓会発展の要と確信いたします。発行関係諸氏に対し、改めて敬意を表し今後の御健闘をお祈りします。

終わりに、学校現場を預かる者として、お願いしたいことが一つ御座います。皆様方が今日まで培ってこられた、叡知・技能・諸々の蓄積を何等かの容で在校生諸君に還して戴きますならば幸いに存じます。皆様の御壮健御多幸を柳川市本町の学舎からお祈りいたします。

プロフィール

神坂 貞幸  
(かみさか さだゆき)

昭和18年生まれ(58歳)  
朝倉郡杷木町在住  
昭和41年 福岡学芸大学卒業  
(中学校英語科)  
昭和41年 直方高校教諭  
平成5年 朝羽高校教頭  
平成9年 小郡市三國中学校校長  
平成14年 本校着任(三井高校から)

平成13年度進路実績 (平成14年3月卒業)

国立大学合格者				私立大学合格者			
京都大学	5名	長崎大学	6名	早稲田大学	9名	中央大学	7名
九州大学	16名	鹿児島大学	7名	慶應義塾大学	6名	明治大学	3名
熊本大学	18名	佐賀大学	14名	同志社大学	15名	法政大学	1名
大阪大学	1名	大阪市立大学	1名	立命館大学	31名	日本大学	8名
一橋大学	2名	東京都立大学	2名	西南学院大学	108名	東京農業大学	4名
神戸大学	2名	北九州市立大学	10名	福岡大学	138名	関西学院大学	1名
広島大学	5名	佐賀医科大学	2名	上智大学	1名	関西大学	5名
東京外国語大学	1名	大分医科大学	1名	東京理科大学	5名	関西外国語大学	2名
横浜国立大学	4名	防衛大学	11名	青山学院大学	3名	その他数多くの私立大学に合格しています	
岡山大学	3名	その他数多くの国立大学に合格しています		公務員合格者			
国立大学前・後期試験合格者153名				公務員	4名		

# 東京同窓会 総会

しゆく 肅  
松永

21世紀最初の総会に当たる平成14年度の東京同窓会は、去る7月21日(日曜日)、東京・九段下にあるホテルグランドパレスで、立花同窓会長・神坂伝習館校長・西山同窓会顧問のご出席のもと、盛大に開催されました。また、伝習館高校新卒3名の参加もあり、総会に花を添えてくれました。

## 講演とミニコンサート

総会に先立ち、栄養研究家の服部幸應先生に「食育のすすめ」と題して1時間にわたり講演していただきました。教育は知・徳・体育の三育があるが、これに「食育」を加えて四育にせよ、そうなる」と不登校児や切れる子供がなくなる、というのが服部先生の見解です。詳細は別掲に譲るとして、服部先生はマスコミの売れっ子だけあって軽妙な話し振りで、老若男女を問わず関心の深い「食」につ

いて、ユーモアを交えて分かりやすく話していただきました。

ミニコンサートは、今年、母校伝習館が生んだ北原白秋没後60年の節目にあたることから、今回も声楽家として将来を期待されている同窓生の筑場亮子さんにご登壇いただきました。ピアノリストとして活躍中の志茂貴子さんとのコンビで「筑場亮子白秋を歌う」と題して、平井康三郎、山田耕作作曲「ひいで ひいで、かやの木、この道、松島音頭 曼珠沙華」など、素晴らしいソプラノで熱唱し、会場を魅了してくれました。志茂貴子さんにも、ピアノ独奏を特別にお願いし、シヨパンのノクターンと、子犬のワルツを演奏していただき、コンサートがいつそう華やきました。

## 総会——会長交代と会則の制定

総会では、会長交代、会則の制定という重要議題を承認していただき、江口三千雄前会長から江崎正直新会長へバトンタッチされました。

江口前会長は10年の長きにわたって会の発展にご尽力してこられました。90歳というご高齢をもって、今回、後進に道を譲られたものです。古賀弘子副会長におかれても、体調がすぐれずご退任されることになりました。江口前会長からご退任に際し、会の発展のために150万円のご寄付を賜りました。松田 舎会員(昭和19年・中学51回卒・学年幹事)からも50万円の寄付を頂戴し、会計200万円

を、これからの東京同窓会の活動基金にさせていただきますことになりました。

会則の要旨は、同窓会会員相互の親睦を図ると共に母校の発展に資することを目的とするのは勿論のこと、

- (1) 学年幹事会を中心に、会の組織的運営をはかり、活性化につとめる。
- (2) 役員を定め、任期制とする。
- (3) 会の財政的基盤強化のため賛助会を募る。

(4) 活性化の一環として会報を発行する。というものです。

寄附金200万円と賛助金を有効活用して、会報などの諸費用に当て、会の活性化をはかることになりました。

## 懇親会

出席者全員に当たるお楽しみ抽選会  
郷土柳川の物産・書籍などの即売会  
映写(ビデオ)『昭和初期の柳川の風景』  
立花家所蔵

懇親会は、伝習館同窓会の西山顧問のご発声に加えて、今回は会長の交代にあたり、江崎新会長の同期でご友人でもある、瀬高の菊美人酒造の江崎和夫社長から寄贈された薦被り樽酒の鏡割りという空前の行事から、威勢良く幕を切って落としました。

懇親会と平行して催したお楽しみ抽選会は、たくさんのお景品を前にしていやがうえにも盛り上がりしました。今年も、地元柳川の絶大なるご協力により、多くの産品をご提供いただき、出席者全員に商

品が行きあたり大喜びでした。物品名とご提供者名を一覧表にして、ここに謝意を表します。(提供リストはP.10に掲載) なお、今回も千鳥屋の原田社長から伝習館の「徽章入り千鳥饅頭」を出席者全員に提供していただきました。その他にも沢山の景品を会員の方々からご提供いただいております。

会場に設けられた即売コーナーでは、あまりお目にかかれな柳川物産の懐かしい品々が所狭しと並べられ、地もと柳川だけでしか販売されていない書籍のコーナーも併設され大好評で、懇親会半ばには大半が品切れになるという賑わいで



した。

親睦会の間中、『昭和初期の大柳河』  
『昭和10年の柳川と立花家』その他のビ  
デオが放映され、戦前の柳川や立花家を  
中心とする懐かしい場面や景観が紹介さ  
れ、特にご高齢の会員の皆さんは当時を  
思い起こしながら観賞をしておられまし  
た。

今回も、談笑の輪があちこちに出来て  
何時果てるともなく続き懇親会だけで2  
時間半に及びました。閉会の時間も近づ  
き、出席者全員で恒例の校歌を高らかに  
斉唱して、中学55回卒の高巢和夫さんの  
閉会の挨拶があり次回の同窓会での再会  
を楽しみにして散会いたしました。



### 新・副会長のプロフィール

松永 肅 しゆく



### プロフィール

昭和29年 高校5回卒  
柳川市出身

昭和33年 明治大学商学部を卒業  
昭和46年 ホテルグランドパレス  
開業に伴い開設準備総務部門担当  
として入社、翌年ホテルがオーブ  
ン後間もなく伝習館の先輩で副社  
長総支配人の立花盛枝氏及び諸先  
輩に東京同窓会の手伝いを命じら  
れる。爾後、ホテル内に事務局が  
移設され、30年にわたり多くの  
方々に支えられ今日まで携わって  
いる。(現在事務局は千鳥屋内)  
一方、旧柳河藩出身の有志で組  
織され、昭和27年11月発足以来50  
年、600回を数える「みろく会」の  
世話人として、また在京県人のた  
めに組織されて50年を迎えた福岡  
県人会の理事を務める。学生時代  
はテニス部に在籍、大学ではキャ  
プテンを務め現在、明大駿台陸球  
倶楽部OBとして後輩の指導にあ  
たっている。

### プロフィール

原田 万紗子  
(旧姓立花) (高13)



昭和19年1月3日 北海道旭川に生  
まれる。  
城内小学校、柳城中学校を卒業し、  
伝習館入学。

昭和37年1月卒業式に出席しない  
で、第一回ロータリー交換留学生と  
してオーストラリアに一年間留学。  
帰国後、津田スクールオブビジネス  
を卒業し、エッソスタンダード石油  
(株)本社に、秘書として勤務。  
昭和42年原田良康(東京千鳥屋社長)  
と、結婚。

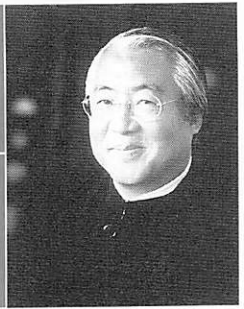
家族は、主人と長女、二女が結婚し  
てそれぞれ孫が一人づつ。  
三女、四女はまだ独身。

高校在学中から卒業後も余り母校  
に対する強い意識もありません。過  
していたところ、突然平成10年松永様  
はじめ、伝習館東京同窓会の幹事の  
方々にお頼まれして、事務局をお引  
き受ける事になり、否応なく伝習  
館との絆が深くなりました。今では  
伝習館の歴史や伝統、素晴らしい先  
輩や後輩の方々とのお付き合いのな  
かで伝習館に対する愛校心が、ふつ  
ふつと湧いてきております(?!)  
菓子屋の甘い仕事の事務所に、  
同窓会事務局という堅い仕事下同  
居しております。是非お立ち寄り下  
さい。



# べしるさそあ風下御折時

——服部 幸應 (学) 服部学園理事長  
服部栄養専門学校校長



平成十四年月七月二十一日 於／ホテルグランドパレス・伝習館東京同窓会總會  
—特別講演『食育のすすめ』より— テープリライト／小野 斜庵

## 講師紹介

伝習館東京同窓会会長  
江崎 正直

本日ご講演頂くのは服部幸應先生でして、もうとにかくその道のタレントでございますので、ご紹介の必要はないのではないかと思います。簡単にプロフィールをお知らせします。

まず、第一に先生と我が柳川立花藩とは大変深い関係にあるということでございます。服部流割烹家元の創始者である服部七右衛門さんは今から四百年前ですが、立花藩初代藩主の立花道雪(宗茂の父)に仕えた武将でございました。道雪公は七右衛門さんのおかげで、当時としては真に珍しい七十三歳の長寿を全うされたと言えられております。服部先生はその十六代目に当たられます。

現在、先生は学服部学園服部栄養専門学校の理事長・校長であります。ご高承の如く、大変幅広い活躍をされておられて、まあ、役職、受賞されたこと、メディアでの活躍、出版物等々ご紹介しますと、それこそ一時間あっても足りないくらいですから、それは省略するとしまして、一つだけ紹介しておきますと、受賞でございますが、七年前に「ベストドレッサー賞」、翌六年前には「眼鏡のベストドレッサー賞」も受賞されております。

今日は、皆さん遠慮なく、よくよくお姿を観察？しておいて下さい。

笑——  
教育と言いますと、知育・徳育・体育の三育ですが、それにもう一つ「食育」を加えて、より健全な子供を……というのが先生の悲願でございます。

現在でも年間百数十回の講演を、北海道から沖縄まで、東奔西走してこなしておられます。今日はご多忙のなかをおいで頂きまして、『食育のすすめ』……実はここに本がございまして、三年前でございますか、書いておられます。そのものズバリのご講演を頂きます。特に本につきましては、先生は今までに五、六十冊の本を書いておられますが、下の会場の売店コーナーに五、六種類置いてありますので、後ほどお求め頂ければと思います。

拍手——  
それでは、先生宜しくお願ひします。

## 最近の活動状況など

お早うございます。只今は大変ご丁寧なご紹介を頂きまして……。

皆様とは、ブラウン管の中では、たまにお目にかかるのではないかと思います。週に9本程レギュラー番組があるのですが出ているのは2、3本だと思っております。後は企画を立てたのが通ってしまつてつい監修までしなければならぬハメになったというのが多くて……今、講演活動も百本位という紹介がありました。が、必ず地方に行つてもその日のうちに帰るんですね。今度は夜中から学校で。又週に一度は一日一本どれか監修の企画会議に出なければならぬ、自分ながらもドロドロの生活をしていると思っております。ただ、どちらかといえばテレビの内容は、グルメが多いんです。この処NHKさんもグルメばかりじゃなくて、私の方が「食育」というのを提唱しているもんですから、それに向けて大分動き始めました。今NHKでは「新男の食彩」だとか「生活ホットモーニング」とか後「金曜フォーラム」とかにも二ヶ月に一回位出させて頂いているんですが、その中で食育を基本にお話して、これから食育という言葉が広まるなあと喜んでおります。

# 食育ということについて——要旨

核家族化で断絶した食の伝承を、学校での「食育」で補えるのではないか。

「人に良い」と書いて「食」。「食育」は、人を良くすることを育むことだと思っ

日本は世界一の長寿国だが、ぼけ、寝たきり……では真の長寿とは言えない。また、自給率が主要先進国の中では最低の水準なのに、生ゴミが増えている。

世界一、ものを大事にしない国民が育ってしまった。

また、箸をちゃんと持てない子どもが増えてきている。

核家族の増加や女性の社会進出などで、家庭における食の伝承が途切れて

しまっているのだ。そこで学校での「食育」が重要になる。

もっと多くの小・中学校が食育をカリキュラムにとり入れてほしい。

今、食卓の6割以上が加工食品で占められている。

防腐剤などを多用しているといわれてきた弁当なども、少しずつだが無添加のものが増えてきている。加工食品の表示を見て、何が含まれているかわかる子どもたちを育てたい。食生活指針を普及しながら、よい食べ方を教えるシステム、それが食育だと思っ

い。

長生きは 粗食正直日湯ひゆだからに 時折ときご下風あそばさるべし

おわかりになりました皆さん、江戸時代から生きておられる方は大丈夫ですけれど。(笑) 長生きは粗食ですよ皆さん。

正直というのは……皆さんのお友達で何でもづけけ言う人はいません。そこまで言わなくても、もう止めなさいよってね。ずけずけ言う人はストレス溜ま

ないですね。だから長生きしちゃうんですね。(笑)

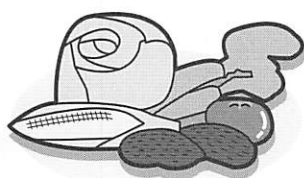
日湯というのは……小原庄助さんですね。朝昼晩お風呂に入った。リラグゼーションでいいよという訳です。まあ、ゆつくりして下さいという事ですね。

だに(陀羅尼)……これはお経を読みなさいということですよ。これは皆さんお坊さんじゃないんだから……お坊さんというのや必ず毎朝四時に起きて、四時半頃からボクボクと木魚を叩いてます。規則正しい生活をしなさいということですね。

最後に「時折ご下風あそばさるべし」……ご下風というのはオナラの事なんですよ。これも我慢しなきゃいけないものなんです。我慢すると逆流してきまして、腸からガスが……血液をぐるぐる回って、毒ガスが回っちゃう訳ですよ。これは催したら、すぐした方がいいですよ。この前三千人位の会場でこう言ったら、こちらに漂ってきましたね。(笑)

是非、この歌の意味を汲みとって、守って頂いて一〇八歳まで生きるそうですので、その精神で生きて頂ければと……。有難うございました。

(拍手)



本当はこの数倍の長い話で、笑いあり、教訓あり、悲憤慷慨ありと盛り沢山だったのですが紙数の関係で要約しました。服部先生お許し下さい。興味を持たれた方は是非先生の著作を購入されることをお勧めします。

きつと、これからの人生がより豊かになりますよ！

最近の著作の一部を紹介します。

『子どもと囲む団らん食』  
小学館 二〇〇二年刊

『家庭料理おいしさのコツ』  
—これさえあれば料理上手—  
婦人画報社 一九九六年刊

『コロンブスの贈り物』  
PHP研究所 一九九九年刊

『服部幸應の塩梅』  
フレーベル館 一九九六年刊

『みんなが元気になるはじめての食育』  
岩崎書店 二〇〇一年刊

(1) 食べ物と友達になろう

(2) 朝ごはんを食べよう

(3) キレる食べ物キレない食べ物

(4) ストップザ生活習慣病

(5) じょうぶな身体をつくる

(6) 家族で食育

『服部幸應流おいしいマナーブック』

講談社 一九九八年刊

『斯文』第一一〇号・平成十四年三月刊より転載  
孔子三像対面式に寄せて

石川忠久（二松学舎大学学長・斯文会理事長）

平成十三年の四月二十一日（土）、東京の湯島聖堂で、明の遺老朱舜水が日本へ持って来た孔子像三体を一堂に会するという催しが行われた。

朱舜水（名は子瑜・一六〇〇―一八二二）は、水戸光圀の先生として知られる。ちょうど明末の争乱に遭遇し、明朝復興に身を挺して、日本へも何度も援軍を乞いに来たが、結局失敗、清に仕えるのを潔しとせず、そのまま長崎に亡命した。時に、一六五九年（日本の万治二年）冬、舜水は六十歳であった。

その朱舜水を助けたのが、筑後（福岡県）柳川藩の藩儒安東省菴である。安東省菴（名は守約・一六二二―一七〇二）は、病氣治療のため長崎へ行き、そこで朱舜水の名を聞いた。やがて、その学識、人柄を知るに及び、舜水が亡命するや、弟子の礼をとり、献身的に生活を支えた。柳川藩での俸禄二百石の半分を割いて舜水先生に奉仕したのは、有名な話である。それから五年して、舜水は光圀の招請により江戸へ出る。その時、省菴へお礼として孔子像三体を贈ったのである。うち一体は安東家に今も伝わり（十一代目の孫・安東守仁氏所蔵）、一体は省菴の仕えた柳川藩の藩齋伝習館に（福岡県立伝習館高校同窓会所蔵）、一体はいろいろな経緯を経て宮中に入った。

宮中に入った一体が、大正の大震災で本尊の孔子像を失った湯島聖堂（昭和十年に再建）へ下賜されたのである。現在、聖堂の管理団体財団法人斯文会に所蔵されている。

昨年、二〇〇一年がちょうど省菴没後三百年に当ることから、三像を一堂に会し、省菴と舜水を偲ぼうということになった。三体とも大きさは四〇センチほどだが、面白いことに姿形が全く違う。斯文会のは顔が小造りで歯が出ている。安東家のは円顔、伝習館のは目が黄色に光っている。



朱舜水将来孔子三像 左から、伝習館、斯文会、安東家

三体それぞれの運命をたどって三百年、こうして一堂に会してみると、また名状しがたい感動が湧き起こるのであった。なお、この催しは、柳川でも六月十六日（土）に行われた。

安東省菴の朱舜水を思う詩があるので見ることにしよう。

夢朱先生 朱先生を夢む

泉下思吾否 泉下吾を思うや否や

靈魂入夢頻 靈魂夢に入ること頻りなり

堅持魯連操 堅く魯連の操を持し

実得伯夷仁 実に伯夷の仁を得たり

没受廟堂祭 没しては廟堂の祭を受け

生為席上珍 生きては席上の珍と為る

精誠充宇宙 精誠宇宙に充ち

道德合天人 道德天人に合す

あの世で、先生は私のことを思ってくださっているのだろうか。

先生の魂がしきりに夢に現れる。先生は斉の魯仲連のように操を曲げず、周初の伯夷のような仁徳を仁徳を具えておられた。

死んでからは、立派な祭を受けられ、生きていた時は、学徳を称えられた。その精神は宇宙に広がり、道德は古の聖人に合致する。

この詩につけられた「引」（序）によると、舜水没後の五年に作られたことがわかる。はじめの二句は、杜甫の「李白を夢む」に、「三夜頻りに君を夢む、情親君の意を見る」（李白さん、三晩続けてあなたの夢を見て、あなたの私を思う

親しい心がわかりました」という句の影響がある。あとの六句は、もっぱら舜水の人柄を称えたもの。

孔子三像再會式典有感而賦

岳堂 石川 忠久

遺老應招投化時

贈留三像有相期

爾來變轉幾年月

再會今知絕世姿

遺老招きに應ず 投化の時

三像を贈留し相期する有り

爾來變轉幾年月

再會今知る絶世の姿

穀雨釋奠

斜庵 小野善睦

瀟瀟絲雨茗溪塘

孔子三尊會聖堂

今日奠儀誰可忘

斯文千載有流芳

瀟々たる絲雨茗溪の塘

孔子三尊聖堂に會す

今日の奠儀誰か忘るべけんや

斯文千載流芳有り

この式典では江崎会長も代表拜（指名焼香拜）を行った。

# 前会長・現名誉会長 江口三千雄氏 プロフィール

平成5年12月から平成14年7月まで会長を務めて頂き、今回名誉会長にご就任頂いた江口先輩に対し心からの敬意と謝意を込めて、その激動の半生の一端を、

その著作『思い出の記』の中の「私の履歴書」を転載し、同窓の皆さんに紹介いたします。

なお、本会对し金百五十万円という多額のご寄付を賜ったことを、ご報告致します。

——『思い出の記』平成11年刊、を読みたいという方は、事務局まで——

## 私の履歴書

明治44年10月1日生(一九一一年)	柳川市大字西浜武七六九	昭和26年6月	神岡鉱業株式会社 本店商務部 製品課長
昭和4年3月	中学伝習館卒業(36回)	昭和27年12月	三井金属鉱業株式会社 改称
昭和4年4月	旧制佐賀高等学校文科乙類	昭和30年8月	本店商務部 事務長(製品原料)
昭和7年3月	(独)入学 旧制佐賀高等学校文科乙類	昭和35年10月	本店商務部 副部長
昭和7年4月	(独)卒業 東京帝大経済学部経済学科入学	昭和36年9月	本店商務部 第一部長
昭和10年3月	東京帝大経済学部経済学科卒業(就職率70%)	昭和39年5月	取締役 大阪支店長
昭和10年4月	日本不動産株式会社入社 月給80円 昭和16年135円	昭和41年5月	取締役 ペルー総監督 (ワンサラ鉱山)
昭和16年10月	三井鉱山入社 石炭課係員 95円	昭和43年5月	常務取締役(総務、人事、 イタイタイ病)
昭和17年11月	ビルマ陸軍ポードウィン鉱業所 ラングーン事務所 資材係長	昭和45年5月	再任
昭和20年4月	三井鉱山(株) ジャワ鉱業所 ジャカルタ出張所 所長	昭和47年5月	名誉顧問
昭和21年5月	三井鉱山(株) 三池製錬所 生活物資係長、業務課長	昭和43年5月	三金不動産株式会社 社長
昭和25年5月	GHO指令 石炭、金属分離	昭和56年6月	旧制佐賀高等学校同窓会
		62年5月	(菊葉会)東京支部長あと相談役
		平成5年12月	福岡県立伝習館高等学校 東京同窓会会長
		平成14年7月	同右名誉会長

## 多額のご寄付に感謝

このたび江口名誉会長(百五十万円)と松田含会員(五十万円)に多額のご寄付をいただきました。このご芳志を基金にして二つのことを企画しました。賛助金の募集と会報発行であります。会員の皆さんに賛助金のご協力をいただき、会の財政基盤確立を目指します。同時に、会報発行により会員相互の理解を深め、東京同窓会の結束を強化できると思っております。いずれも江口名誉会長と松田含会員のご寄付のおかげであることをここに特記し、会員を代表して謝意を表します。

伝習館東京同窓会 会長 江崎 正直

## 伝習館東京同窓会 ご提供品リスト H14.7.21

景品	数	ご提供者(敬省略)
*清酒『菊美人』薦被り 菊美人酒造(株)江崎和夫(高校2回卒)		
1 御花 ペア宿泊券	3	(株)御花(高10 立花寛茂)
2 ホテルグランドパレス ペア宿泊券	1	(株)ホテルグランドパレス
3 ディズニーランド ペアチケット	1	千鳥屋(高13 原田万紗子)
4 花ごぞ タペストリー	5	岡本商店
5 花ごぞ ランチョンマット	5	岡本商店
6 ワインセット	1	セキヤヒルズ(高14 新井禎一)
7 書籍「水の構図」	2	(株)御花(高17 立花民雄)
8 書籍「思い出」	2	(株)御花(高17 立花民雄)
9 書籍「柳川の殿様と呼ばれて」	10	(株)御花(高17 立花民雄)
10 大松下のあめがた	20	中学51回卒 松田 含
11 米せんべい(本家 坂田屋)	5	高校2回卒 小野善睦
12 幻のらーめん	10	(株)御花(高17 立花民雄)
13 ハーゲンダッツアイス	10	高校21回卒 西原正道
14 まる江の味噌	12	まる江醤油(高34 永江隆志)
15 まる江のしょんしょん	12	まる江醤油(高34 永江隆志)
16 有明海の珍味「貝柱の粕漬」	5	高橋商店(高7 高橋 朗)
17 うなぎ	5	高橋商店(高7 高橋 朗)
18 寒天こんぶのり玉はまぐりセット	20	高橋商店(高7 高橋 朗)
19 雑穀米	3	ベストアメニティ(株)
20 ネックレス 他	27	斉藤デザインルーム

\*その他沢山の景品を会員の方々よりご提供いただきました。

## 総会へのご提供品あれこれ

去る7月21日の総会当日、沢山の方々から郷里に関する景品を景品としてご提供頂きました。——リスト別掲——  
この中から、二、三の景品について紹介します。(取り敢えず、今回は会報編集部で把握しているものになりましたが、他の景品についても、ご提供者の方々からの情報を頂き、次号以降にも紹介していきたいと思っております。)

# 一、清酒「菊美人」こもかぶり

ご提供者—高2 江崎和夫 様

総会当日、壇上に大きなこもかぶりの樽がデーンと座っていました。有志の皆さんが伝習館のハッピを着て、鏡割り? をしましたね。あれです。瀬高町上庄にある菊美人酒造株式会社の銘柄です。知る人ぞ知る・その昔、白秋のお姉さんがお嫁入りした酒造家です。白秋の姉・加代さんをうたった詩があります。歌があります。

姉上

姉上、ああ姉上、あなたこそは善良です。

あなたの美こそは思無邪の美です。

健康な母胎、豊満な愛情の籠。ああ、あなたこそはアンドロメダの星雲。

お生みなさい、お生みなさい、もつともつともつと。

ああ、近古の女性風景、

あなたこそは淡紅の牡丹、

姉

酒屋には

酒屋よけむと

嫁に來しお加代姉さま

ただの古婦ふるつば

そのお加代姉さんの孫が現在当主の江崎和夫氏です。

高2というのは、江崎新会長と同期生ということですよ。祝電も頂きました。

畏友 江崎正直君の会長就任を祝し、北原白秋ゆかりの酒 菊美人を献ず。今宵 東都に星座よ輝け。

福岡県瀬高 江崎 和夫

ちなみに、同社の銘酒は1本から、宅配便で発送可能の由。

瀬高町上庄183

電話—0944-6213001

FAX—0944-6212168

また、首都圏に店舗展開中の「居酒屋九州」（社長萩原繁満氏・八女高出身・柳川市観光大使）に行けば同窓会の席上にも置いてあった菊美人冷酒や菊美人大吟醸・熱燗で九州男児の銘柄が、有明海の魚介類を肴に存分に味わえます。



## グループ各店のご案内

## 案内地図



- |    |                |                             |                  |                                  |
|----|----------------|-----------------------------|------------------|----------------------------------|
| 1  | 郷土の酒と味 九州新宿店   | 新宿区西新宿1-14-1<br>日種ビルB1      | ☎3348-9674       | ■新宿西口。<br>ヨドバシカメラ<br>OA総合館前。     |
| 2  | 食味酒処 五百えん屋     | 新宿区西新宿1-14-1<br>日種ビル3F      | ☎3344-9809       | *                                |
| 3  | 居酒屋 九州ワシントンホテル | 新宿区西新宿3-2-9<br>新宿ワシントンホテルB1 | ☎3342-0204       | ■新宿南口。<br>甲州街道を徒歩7分。<br>新都庁そば。   |
| 4  | サウナ ワシントン      | 新宿区西新宿3-2-9<br>新宿ワシントンホテルB1 | ☎3342-0926       | *                                |
| 5  | 郷土の酒と味 九州宇田川店  | 渋谷区宇田川町17-2<br>伸工ビルB1       | ☎3463-0442       | ■渋谷ハチ公口。<br>西部A・B館の<br>間に入る。     |
| 6  | ビアラウンジ渋谷サクス    | 渋谷区桜丘町2-11<br>荻野ビル3F        | ☎3463-5320       | ■渋谷南口。<br>歩道橋を渡り<br>交通公社隣り。      |
| 7  | 郷土の酒と味 九州銀座店   | 中央区銀座6-3-18<br>リンデンビルB2     | ☎3572-9651       | ■丸の内線銀座。<br>致奇屋通り<br>泰明小学校前。     |
| 8  | 郷土の酒と味 九州日比谷店  | 千代田区有明町1-4-1<br>日比谷三信ビルB1   | ☎3580-7585       | ■日比谷線、<br>千代田線、三田線<br>日比谷駅。三信ビル。 |
| 9  | クラブ 赤坂サクス      | 港区赤坂3-11-7<br>ソニアル赤坂4F      | ☎3589-3094       | ■地下鉄赤坂見附。<br>田町通り<br>街路灯28番。     |
| 10 | 喫茶室 サクス        | 千代田区一ツ橋2-3-1<br>小学館ビルB1     | ☎3264-4826       | ■都営新宿線・<br>三田線神保町駅。<br>小学館ビル。    |
| 11 | 九州パブ さんくす      | 千代田区一ツ橋2-3-1<br>小学館ビルB1     | ☎3264-4829       | *                                |
| 12 | 郷土の酒と味 九州福岡店   | 福岡市中央区天神4-2-20<br>幸ビルB1     | ☎722-2802<br>092 | ■天神。<br>中央郵便局裏。<br>日銀隣り。         |

二、大松下のあめがた 20箱

ご提供者—中51 松田(星野) 含様

何故か、同窓の2氏が競作した『あめがたしゃん』という柳川方言詩があります。微妙な相違があります。柳川出身の読者の方はどちらが正統の柳川弁か決めてハイヨ・・・。

柳川市旭町16 大松下館本舗  
電話—0944-72-5812



上段・堤 陽太郎 高2回

オロ— こめシエンペしちゃんチ昔からおらつしやつたつカンモ！  
おどんが方は 上町からバサラカ遠かケン  
お目にかかるコツはなかつたバンモ  
出の橋の近くの子供さんナほんによかノモ  
コーンチョコカ時から今まで 皺ンあるばつてんオナシカお顔の  
こめシエンペしちゃんが生きとつてくれめして  
死のゴツ嬉しかるノモ

そばつてん おどんたちにやアメガタしゃんのあるバンモ  
国道橋まではいかんばつてん 旭町にあるとタンモ  
大松下さんのアメガタしゃんタンモ

こん前買いゲ行つたら 今デンヤツパ  
茶色ン糠ン上にシ—ロカお顔ば出して笑いヨラシタバンモ

アメガタしゃんバ オシヨル時 ちよつとしたコツのいるバンモ  
ただ曲げタツチャ くにやつとなつて  
死んだクチナワンゴツ のびるバツカシタンモ

昔や火鉢のへりにあてて「すんまつせん割らせて貰うバンモ」  
チュウテ パチツと叩きつけて砕いたタンモ

あんまり強く叩くとクサンモ 三つも五つにも割れて  
みんなで取り合いになったモンタンモ  
ほんにアメガタしゃんの生きトシナハツテよかつたノモ—  
イツマッデン 色白美人でいてクレメセ・・ノモ

包装紙もまんまんしゃんの手のかかつたらんで  
昔とイツチオンナカツパンモ

ソ—ソ まんまんしゃんの言イヨラシタばつてん  
このアメガタしゃんバ食うギツト

お乳の出のようなるごたるゲナバンモ 嫁さん上げてハイヨ  
アメガタしゃん ホンニ生きとりメシテ 嬉しカー！

ナシケン皺もナカつやつやした白肌の美人で  
イツマッデンお年バトラッシャランとジャロカノモ

注・まんまんしゃんチは小野しゃんのコツタンモ

競作—柳川方言「詩」アメガタしゃん—

下段・作山(中村) ミツ 女47回

オロ— こめシエンペしちゃんチ昔からおりメシタカンモ？  
おどんげば 上町からバサロ遠かケン  
お目にかかったコツはなかつたバンモ？  
出の橋ニキの子供シはよかとこにおりメシタノモ  
コーンチョコカ時からコン歳まで生きるギツト  
皺ンあるバツテン  
ヨ—似た顔のこめシエンペしちゃんも生きとつてくれメシテ  
そりや— 嬉しありメシツロー！

ソリバツテッソ おどんたちにも忘れられんアメガタしゃんの  
アツタンモ

そりや大松下ンアメガタしゃんタンモ  
国道橋までは行かんバツテン 旭町の入り口にあつタンモ

こん前買いゲ行つたら 今デンヤツパシ人気もんげなバンモ  
アメガタしゃんは昔とイツチオン変わらん茶色ン糠ン中に  
シ—ロカ顔ば揃えて寝トリメシタ  
アメガタしゃんバ食ブツ時はオシヨつて食ベヤンモン

ただオシヨツ時コツのあつタンモ  
じ—つと曲げタツチャ クチナワンゴツのびるバツカシタンモ  
昔や火鉢の縁で「ごめんしメセ 割らせてくれメセ！」

チュウテ ウツ叩いてオシヨツタもんタンモ  
コン時 力バ入れ過ぎツト 幾つンデン割れて  
みんなで取り合いになったモンタンモ  
ほんにアメガタしゃんの生きとつてくれメシテ

オドンドミヤ嬉しかバンモ アメガタしゃん  
包み紙までも昔とイツチオン変わつたらんバンモ  
ソ—ソ まんまんしゃんの言イゴツばつてん  
アメガタしゃんバ食ブルギツト

乳ンよう出るゴツなるゲナバンモ！  
嫁さんガタに上げメストヨカ！

アメガタしゃん ホンニアナツツアンの生きとりメシテ  
嬉しカー！

イツマッデン アナツツアんな皺ン無かつやつやの  
白肌美人でいてくれメセ

なんべんデン言うバンモ  
こめシエンペしちゃん アメガタしゃん  
よう生きとつてくれメシタ ありがとバンモ！

(東京星座 No.63より転載)

三、坂田屋のこめせんべ 5箱

ご提供者―高2 小野善睦 様

柳川市上町30 坂田屋

電話兼FAX―09447212377

同氏作の次の狂歌が同店の包装紙に印刷されています。これを見た伝習館の先輩が柳川方言詩を作りました。両方とも見てハイヨ・・・。



狂歌 こめせんべ恋歌

「なにかんも」チさがし歩けど  
「なかばんも」チ言う店ばかり  
あゝこめせんべ

こめせんべ「ノーナリヨル」チ  
友の言う ソラオーゴツタイ  
ゾータンノゴツ

ホンナヨカ オリが習うケン  
作り方 知ツトル人バ  
探してクレンネ

こめせんべあゝこめせんべ  
その熱き 友の心か  
このこめせんべ

こめせんべ焼けばその香の  
ほのぼのと  
母ありし日の昔のまゝに

こめせんべ  
焼く妻の手に重なりて  
あかぎれありし母の手の見ゆ

こめせんべ  
みせびらかして かざし歩き  
転びて泣きし幼な子はいま

小野 斜庵 (高2回)

ホンナコツノナリヨルなら  
今んうち 保存会ナト  
作ろやナカネ

柳河に一人や二人おるヤロモン  
こめせんべバ作るオバシヤン

こめせんべかざしてみれば  
港橋に 君を待つ間の  
昼の月かも

送り来し  
こめせんべ入る紙箱の  
レトロ模様の 柳河の箱

紙箱をつくる箱屋に  
口髭の親爺いましき  
いまも達者か

かにかくに  
このこめせんべ恋しかり  
おもいで山 おもいで川

柳川方言「詩」

作山 (中村) ミツ (女47回)

こめシエンペさん  
オロー あなつつあんなまだ 生きとりめしたかんも！  
うれしかあー ほんなこつ いっさしゅう  
お目にかからんじやったけん  
もう おらんごつなりめしたチ おもよったたんも  
よー 生きとりめしたのーも うれしかったばんも！

こんちよかとき おとつつあんでん おばあさんてん  
あたいどんのおやつに 焼いてくれめした  
子供人多かつたけん 順番ば待つたらやんじやった  
あなつつあんの網の上で  
ごしやごしやとしわになって 焼くつとば  
じーつと待つとつときの  
あん気持 何ち 言われんやった

あなつつあんば じーつと 見よるぎつと  
こんちよかときこのつ  
いろいろ ばさろ うかんでくつたんも  
よー 生きとつてくれめした  
うれしかったばんも ほんなこて！  
ずーつと のうならんごつ 生きとつてくれめせ  
あたいが死ぬまではー  
おねがいばんも こめシエンペさま

(東京星座 No.60より転載)

四、幻のラーメン・朱舜水明麵

10箱

ご提供者—高17 立花民雄様

柳川新外町1 御花

電話—0944-73-2189

# 江戸時代に生まれた 幻のラーメン。 いま、時代を超え よみがえる!!

健康志向

朱舜水明麵の商品特徴

- 麺** 国産小麦粉に凍根の粉をつなぎにして打った平打麺  
原材料: 国産小麦粉、凍根粉、食塩、二糖、酒粕、長崎、増粘カラゲナム
- 辛子高菜漬** 明治初期に中国からの四川高菜と紫高菜を、立花家農場で  
交配、改良された筑後瀬高高菜を自然の調味料で製造  
原材料: 凍根高菜漬、水酢、味噌、エッセンス、唐辛子、ゴマ、糖漬油、食塩
- スープ** 中国料理(フカヒレスープ)に伝わる最良級金華中国  
ハム(豚肉を冬季に塩漬したもの)を使用したスープ  
原材料: 食塩、酒粕、食塩、チキンエキス、昆布、鰹節エキス、醤油、砂糖、鶏油

カンスイは、使用していません。  
●化学調味料無添加 ●合成着色料無添加 ●合成保存料無添加

日中友好の魁

幻のラーメン

## 朱舜水明麵

日本と中国の師弟愛から  
生まれた伝説のラーメン

柳川藩 安東省菴  
明儒学者 朱舜水



代々水戸徳川家に伝えられ  
最後の将軍慶喜も食べた  
二二〇年ぶりの日本前ラーメンを再現

柳川 立花家

柳川立花家 御花 九州ラーメン研  
合資会社 鳥志商店

## 幻のラーメン「朱舜水明麵」の由来

日本で初めてラーメンを食べたのは、文献的には水戸光圀公というのが定説になっています。しかしそれ以前に、九州でつくられ、食べられていたのでは、との想い膨らみ、幻のラーメン「朱舜水明麵」を再現しました。

光圀公にラーメンをふるまった中国・明の儒学者朱舜水(しゅ・しゅんすい)は、光圀公に招かれて江戸に向かうまでの約六年間、亡命先の長崎に居留していました。その生活を支えたのが、柳川藩の儒学者・安東省菴(あんどう・せいあん)でした。豊かとはいえない自らの俸禄二百石(実米は八十石)の半分を、師と仰ぐ舜水に捧げ続け、長崎大火で舜水の住まいが焼失したときは、重病の家族がいるにもかかわらず長崎へ駆けつけ、家を新築したほど尽くしています。

このような省菴の真心に、朱舜水はせめてものお礼として、光圀公にしたと同じように、手作りの明の麺料理をご馳走していたに違いありません。

また、江戸へ向かう途中に柳川の省菴を訪ね、三体の孔子像を贈っていますが、儒学者にとって孔子像は尊極の当体。その安置に際しては、後に江戸で孔子像に捧げたと同じように、明麵をお供えたことは想像に難くありません。

ということは、江戸の水戸藩邸より先に柳川でラーメンがつけられ、食されていた、との解釈をしても、決して不自然ではないと思います。

そのラーメンとは、水戸徳川家に残されている記録によれば、スープは中国ハム(火腿)からとり、麺は小麦粉のつなぎに凍根の粉を混ぜたとあります。このたびの復元は、このスープと麺を基本にして、幾分現代風にアレンジしたもので、当時と同じように添加物は一切使用していません。具材の辛子高菜漬は、初代柳川藩主の立花宗茂公が、朝鮮の役の際に持ち帰った紫高菜と、中国四川高菜を明治期に立花家農場で交配した筑後瀬高の高菜です。

光圀公以来、朱舜水のラーメンは代々水戸徳川家に伝えられ、同家の出である最後の将軍徳川慶喜公も好んで食しています。その縁(旧柳川藩立花家15代鑑徳夫人は慶喜公孫)につながる柳川の地で、このたび幻のラーメンが再現されることに、深い歴史の絆を感じてなりません。

一杯のラーメンに秘められた、中国と日本を結ぶ師弟愛と歴史のドラマを、どうぞお召し上がり下さい。



# 先輩・後輩よりー1

## 優勝伝習館！ 校旗は何処へ

東京同窓会の歩み  
—その—

高1回卒 永江政勝

「伝習館高等学校東京同窓会」

右が現在、ホテル「グランドパレス」に於いて、隔年開催されている東京同窓会の前身の正式名称である。(以下、旧東京同窓会と記述する。)

旧東京同窓会は、昭和二十七年に、第一回の総会を開催し、昭和四十年年度迄、毎年一回の総会を継続開催した。私が旧東京同窓会に参与したのは、昭和二十八年、(株)三工社に入社以降、同社創立者、上田卓爾氏(中20)が亡くなった昭和四十三年度の総会までとなる。

旧東京同窓会の記録は、昭和四十三年以降、(株)三工社の工場移転、事務所、倉庫の解体新設工事等、再々の混乱の過程で、保管していた資料が消失し、申し訳ないことながら、全く残っていない状況である。

只でさえ頼りなくなっている昨今の記憶をたのみに、旧東京同窓会の概要を綴ってみた。

戦後の旧東京同窓会結成の端緒は、今も毎月十八日に、ホテル「グランドパレス」で開催されている「みろく会」での合意に至ったと思はれる。「みろく会」とは、柳川地方出身の、政財界人の昼食会で、当時立花盛枝氏(中19)が、専務をされていたパレスホテルで開催されていた。

昭和二十七年、「みろく会」のメンバーであった数名がリーダーとなって、旧東京同窓会の設立に向けて第一歩を踏み出し、パレスホテルに於いて第一回総会を開催した。

初代会長十時精一氏(中7・築地所在の信金役員。温和な人柄ながら、身を処するに古武士の風格を漂わせる。しかし絵に描いた様に美事な好々爺)。副会長宮崎駒吉氏(中14・元三菱電機社長、土・日の連休は、ホームコースのゴルフクラブへ、エイジシユートが自慢、元気澁刺の大熟年、十時氏没後二代会長に就任)。副会長古賀貞子氏(高女15・惚れ惚れする様な、たおやかな柳川弁を巧みに駆使する、明るく上品な大奥様)。主な幹事として、立花盛枝氏(中19・パレスホテル専務。穏やかなジョンブル風紳士、後述の上田氏と絶妙のコンビで、ともすれば暴走し兼ねない上田氏の貴重なブレーキ役)。上田卓爾氏(中20・(株)三工社社長、強烈な個性、技術屋特有の理詰めの主張と、論より先ず実践、直情径行の行動力にはいささか辟易、他の反目を買った面もあったのではないだろうか?)。

な愛校心、愛郷心が、多士済々の同窓会を見事にまとめあげ、第一回総会のスタートに結実したものと思はれる。

その他、河口静雄氏(中25・(株)三共役員)、福山寿氏(中34・ブリジストン(株)役員)、古賀義利氏(中44・(株)竜保険事務所役員)等諸先輩のご尽力が思い出される。

同窓会事務局は、上田卓爾氏の(株)三工社に置き、昭和二十八年三月以降、私が一切の業務を担当して来た。

旧東京同窓会の方針は、毎年、進学、就職等で上京する後輩を暖く迎える同窓会であることが最重要である。その為には、将来柳川の同窓会との意見が喰い違ふ事態が発生しても、柳川の意向に左右されず、東京独自の行動を推進したいとの思いから、敢えて同窓会東京支部を避け、東京同窓会と命名した心情を鮮明に表明してスタートした。

従って、昭和二十八年に入社した私の初任事は、当時未だ行われていた、修学旅行の東京駅出迎え、国会議事堂案内であり、陸上競技、女子インターハイで、福山さくら君達の奮闘で全国制覇した時の応援、祝儀の世話役だった。予想外の優勝であった為か、校旗そのものが存在しなかったのか不明だが、表彰式で、ポールに掲揚する校旗が無く、淋しい思いがした記憶が残っている。

今一つは、先輩であれ、後輩であれ、同窓会を、政治家の道具にはしないこと、これは当時の主要メンバーの言動から、はっきり汲みとることができた。

事実、当時政界には、現役で、山崎巖氏（中20・衆院、自治大臣）、草葉隆円氏（中21・参院、厚生大臣）が活躍されて居り、同窓生、友人としての応援は、個人的には相当踏み込んだ応援が見受けられたが、同窓会の役員を嘱託することは無かったし、修学旅行の国会見学に便宜を図って貰うことはあっても、同窓会組織を利用しての選挙応援等は、全く行われなかった。

旧東京同窓会の総会の形式は、昭和二十八年年度以降は、総会会場は貸しホール等を借り受け、食事は折詰弁当、飲物は出欠申込時に希望を把握して、持ち込みで済ます等、極めて質素な会合だった。

会場は、想いだけですけれども、ホテルテイト、東京ホテル、明治記念館、日本青年館、清澄庭園集会所、海洋会館（百人町）等、何年か同一会場を連続利用したり、会場押さえには苦労させられた。

総会の徴収会費は、一般会員千円、学生会員五百円、女子会員は、男子よりそれぞれ二百円低く設定し、新上京会員は無料とした。

食事、飲物、活字印刷の名簿を、この会費で賄うには、当時の物価状況でもいささか苦しい状態だった。

同窓会としての業務は、総会時期である五月ないし六月前後に集中する。毎年新しく上京する後輩を迎える為、卒業式後学校事務局との連携作業で新上京会員を把握して名簿に登録する。当時在籍会員は新卒上京会員まで含めて、八百〜九百名程であった記憶がある。総会に向け

て、名簿原稿、校正、印刷。案内状の発送、維持会費（後述）の徴収依頼、出欠名簿の調整、出席名札の作成等。ワープロ、パソコン、コピー機等、文明の利器の乏しい年代、一人でこなすには結構ハードな作業量だった。

旧東京同窓会の運営資金についても触れて置きたい。

同窓会構成員会員からの年会費は徴収しない。

維持会費として年額千円を負担する、「維持会員」と維持会費十年分を一括納付する「終身維持会員」のいずれかを有志会員に依頼して、初年度は「終身維持会員」、「維持会員」それぞれ五〇名程度の賛同を得てスタートした。従って維持会費年額の五万円、終身維持会費五〇万円程度が発足の基金となった。

基金は当初、五〇万円の電々債を購入、毎年の総会費用、名簿印刷費等の不足額の補充に適宜取り崩して行った。

総会時のアトラクション等は、何年かから始めたか、はつきりした記憶はないが、清澄庭園、海洋会館等では、マジックショウ、或いは三遊亭金馬師匠の駆け出しの小金馬時代等、かなりの期間継続して呼んだ記憶がある。

無論徴収した会費の中から、ギャラを賄える訳はなく、毎年上田卓爾氏のポケットマネーに依存していたし、年を追う毎に、弁当、会場費等赤字幅が拡大して、殆ど毎年相当額を好意に甘えていた。

維持会費も、年が経つにつれ、未収が増加し、昭和四十三年頃は、四〇名程度

の未収であった記憶がある。

昭和四十三年度の総会を終えた時点で決算報告は、上田卓爾氏に、長期の闘病期間があった為、三年程ポケットマネーを要請する機会がなく、止むなく（株）三工社からの借入金として表示した金額が、同窓会の預金、債券の合計額約二〇万円を、一〇万円程オーバーする状況になっていった。

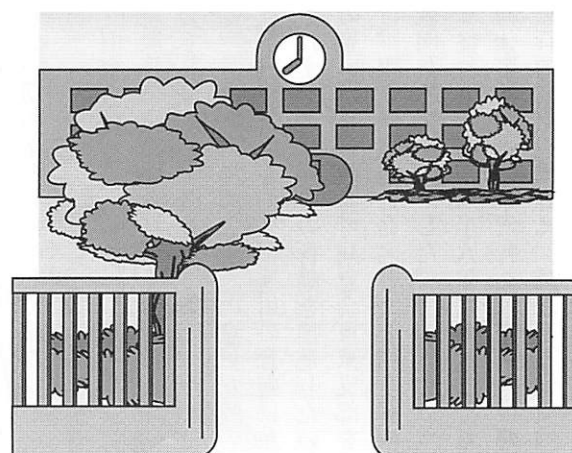
決算幹事会の席上、「三工社の経費として、処理できんかんも？」との発言もあったが、立花さんから「上田さんが亡くなったのに、永江さんをお願いするのは筋が違います。」とたしなめられた記憶がある。

爾後、先輩諸兄に、基金の補充を要請する気力もなく、本職の会社の仕事も、多忙を極める状況に追い込まれ、申し訳ないことながら、なし崩しに、ホテル「グランドパレス」在勤の、松永肅氏（高5）にバトンタッチする状況に移行した。

以上が、旧東京同窓会十六年の歩みの概略である。

振り返れば、私自身、諸先輩が旧東京同窓会を建ち上げた年令に達して久しい。

内心忸怩たる思いにかられながら、新しい東京同窓会再建の動きに期待すると甚だ大である。



# 『伝習館水泳部の 最も輝いた日』

## 全国大会優勝を顧りみて

高三回生 酒井清行 きよつら  
二〇〇二、十月記

をやったものです。上級生に揉んでもらったことで自信を取り戻し快泳しました。この時以後は超弩級の大選手に育つてくれました。後日談だが下級生をつかまえては揉み手が疲れ果てるまで揉ませていたと聞き、この時の方が前例となり癖になってしまったかも知れません。

### 西部大会の記録と得点

百米自由形	③古賀 学	1分3秒2
二百米	②古賀 学	2分18秒4
四百米	①横田宣明	4分51秒0
千五百米	③石橋 明	4分53秒8
二百米リレー	①石橋 明	19分25秒0
	⑤横田宣明	20分8秒8
	③(古賀、石橋、酒井、横田)	1分54秒2
八百米リレー	(200米×4)	
	①(酒井、石橋、古賀、横田)	9分29秒6
得点	①から⑦着まで夫々	
	7、5、4、3、2、1点	
	①7点×3＝21点 ②5点×1＝5点	
	③4点×3＝12点 ⑤2点×1＝2点	
合計40点で優勝。二位以下は、臼杵高24点、鹿本高22点以下高知商16、佐伯鶴城16、浮羽16、丹原14、三瀧7点となった。		

### 全国大会、東西優勝校争覇戦へ

余裕をもって西部男子高等学校選手権水上競技大会に優勝した伝習館は東部の

優勝校の伊東高校(静岡県)との一対一の争覇戦でナンバーワン校を決めるといふ最後の難関に向け夜汽車の煙をもとせせず長駆上京しました。本郷の東大正門前近くの大栄館という旅館に宿泊しました。当時は未だ食糧難(配給制)だった為、米一升を各人が持参したように思います。緒方勇雄先生(監督)は京都大学出身だったと聞いておりましたが、どういふ積りか東京大学の安田講堂を中まですり見学しに連れて行って下さいました。東大に入れという示唆だったのか、

将又ご本人が京大と比べておられたのか定かではありませんが、最高学府に足を踏み入れたことで運動選手には「よかもんば見たたい」という程度の安らぎは感じました。試合を前にして寛ぎを与えよとの親心だったのかも知れません。昭和二十六年八月二十三日夕方七時、二百米リレーを皮切りにいよいよ対抗戦が始まりました。水温気温共三十一・五度と記録にあります。夕方には雨も上がりやや涼しくなり良いコンディションになっていました。途中から六基の照明が点灯され、はじめて経験する夜間照明の中を泳ぐことになりました。緑がかった青い幻想的な光芒のさす水中は得も言われぬ美しさで心安まる母の胎内を偲ばせて(呵々)夢の中の様でした。火薬の臭い漂う大号砲のピストルでスタートしました。相手の伊東高校は熱海の先で至近距離故に大勢の応援団が陣取っていました。戦後復興の時代に世界新記録を次々に出した古橋、橋爪選手という偉大な先達の影響から一般観客席は観衆で一杯で

した。対抗戦ではオリンピックでもそうですが八百米リレーは一番最後に組まれるレースと決まっています。200mずつ四人がリレーする競技で総力戦となるので、いわば大会の華でもあります。各チームの応援は声を枯らして最高潮に達します。会場である神宮外苑プール(50m公認)はJR信濃町駅と千駄ヶ谷駅間の線路に沿った所に位置し戦前からの歴史的名勝負(日米対抗やインカレ等々)があつたいわば水泳の甲子園で、憧れの的です。スタート台の高さが他のプールよりもずいぶん高いなあと感じました。もう夜の十時になっていました。八百米リレーの結果が長く引っぱる独特な抑揚のある声でアナウンスされようとしています。明治神宮の森は静寂に静まり返ってこれ待ち受けています。『ただいまのけっかーいっチャャーく第三のコース伝習館校、古賀君、石橋君、酒井君、横田君、じかアーん9分22秒8。にチャャーく第五のコース伊東高校、木村君、鈴木君、川口君、井原君、じかアーん9分24秒2』。注：印のところは母音を高めに長く発音する。声に出してみ下さい。

我が母校伝習館高等学校が最終レースに勝利して遂に全国高等学校の頂点に輝いた瞬間でした。もしこれに負けていれば同得点ながら27対27ですがリレーを制した伊東高校が優勝となる際どい勝負だったのです。結果は30対24でした。

出場選手11名(監督1名を含め15人以内)実施要項) 三年生(6人)

一郡 辯(主将)、酒井清行(副将)、石橋 明、大橋澄雄、横田宣明

二年生(4人)

今村魁夫、柿野繁喜、田中铁也、

平野(山田) 求

一年生(1人) 古賀 学

監督、緒方勇雄先生、

副監督、待鳥 恵先生

採点法 1位3点、2位2点、3位1点

リレーは1位3点、2位0点

東西の区分は大略、琵琶湖を境とし具体的には京都、滋賀、奈良、和歌山の各県を含む南北以西の各県を西部としています。従って関ヶ原(岐阜県にあるが滋賀県に隣接)を境として分けたとも言えます。恰も歴史上の関ヶ原の合戦を彷彿とさせる因縁の対決でした。十種目における熱闘の結果は別表の通りで、200平泳は6対0と圧勝、相手はバタフライで疲れ棒立ちになって惨敗したのです。監督とOBの待鳥啓三氏は秘策を練って一位の数を多く狙って同じ長距離の石橋と横田を200、400、1500米に重複しないよう采配された。相手も、本来自由形短距離の井原選手を平泳ぎ(バタフライ)に投入するなど知恵を絞った様だ。八百米リレーの第一泳者だった古賀君は途中でパントの紐が切れズリ落ちそうに泳ぎづらく予想外の後れをとった。五米以上離れていたのを、長距離で超高校級の石橋君は追いつき追いこして第三泳者の酒井君へタッチした。どの位リードがあったか定かではないが、コリヤア頑張らんと相手は強敵だし危ななばいと感ずる距離し

かなかったと思っていました。相手方の川口友平君は、長距離に強い十傑に入る程の名前の通った選手でした。五百五十米をターンした時はまだリードしていたことを覚えていたがどんどん迫って来ているのを肌で感じた。あと五十米を必死に泳ぎ切って横田君にタッチして相手を見ると水面に着水する寸前でした。一艇(体) 身位引離されていたようです。自己のベストタイムだったようで今はなき待鳥啓三先輩に何度も「あん時はよう泳いだぞ、頑張った」との誉め言葉を戴いたことを懐古しています。体育の先生で女子水泳部の監督として女性陣を引率して来られていた松尾絹子先生は都会的で垢抜けしたマドンナ美人で、若々しい女性でしたがスタート台に立つ直前に右の二の腕を頑張りなさい! と言ってギュッとねえすまれ(抓ねられ)ました。これでやる気と元気を貰ったようです。前半は大きな泳ぎで百米から百五十米の間でピッチをだんだん早くして、最後のターンからはスピードに乗って一気に泳ぎきったと自負しています。アンカーの横田君はあと二十五米の所で猛然と馬力を出して並び、アツという間に抜き去り、二米位、時間にして一秒四リードしてゴールイン。西日本新聞によると「水車のように腕を回転させ古橋ばりの怪力を出した横田によって勝ち、優勝す。」と報じた。負けて勝ってまた負けて最後に勝ったレースは加山雄三主演の若大将シリーズの映画にそっくりの白熱した名勝負でした。閉会式では高松宮殿下より直々に一郡主将へ「おめでとう」の低い声と

ともに高松宮益と優勝旗を賜った。緒方先生の遺稿によると東京駅頭には山崎厳議員等十数名が歓呼して見送って下さったとあります。帰着の瀬高駅からは大津山元部長のきもいりで、後部に展望台付の堀川バスに乗って山川(石橋君が竹飯)から川口(古賀)、枝光までデモリ、日を改めて国際映画館(昭和堂本屋の先)で晴れの顕彰式をあげて貰ったり、母校の講堂でも祝賀会がありました。まだ戦後の立直りができていない頃の柳川地方の人心に明るい風を吹きこんだものと思います。優勝余閑として、岡部平太さんの後日談であるが、神宮プールで決戦が行われていた夕刻、二人の紳士が高級車で外苑道路を通った。場内放送の「伝習館高校、石橋君」というアナウンスが何度も轟くのを目にされたのである。一人はBSの石橋正二郎氏で、柳川の伝習館が強く久留米はどうしているかという話になった時、岡部さんは、プールのさえあれば久留米でもという答えをした。これが文化センターとか久留米の学校全部にプールを寄贈する発端になったという。文化センターの主事をやらされた名物男の岡部さんのこの話は恐らく作り話ではあるまい。と記述されています。(県立75周年記念誌 p.220より)

### 練習風景など

当時の水泳部員は男女合わせて30名近くだったので効率よくいかに泳ぐかが課題で、全員が順繰りに泳ぐ工夫がされた。

バタ足、ダツシユ等々。人材にも恵まれ、笑わせる愉快な一団、真面目部員、学業志向の部員などが夫々に役割分担をし各自が自発的に役目を果たしていました。プールに夕闇がやってくるまで、桜の花と同じ頃から練習を始め、胸から胃が飛び出さんばかりの苦しいインターバルダツシユ。(50米とか75米を全力でスピードで泳ぎ、30秒間隔で十回も二十回も繰り返す練習。) 声も出さず心の中でコンツキシヨコンツキシヨと呼びつつやと終る練習。オーイ終ったぞ! みんなバケツを叩いて歓声をあげたもので、帰路につく三、四十分は笑いと合唱で盛り上がったものです。私ごとですが、毎朝必ずプールのスタート台に立ち自分の姿を水面に映し、水を見、自分を見ていると、ヤルゾという気持ちで全身から湧き立ちゾーツとする程の奮起心を体感しそのまま一時間目の授業に出たものです。昨夜はよく勉強したか、水泳も全力で練習したか、こういう反省と自らへの励ましとを毎日続けたことは尊い経験でした。大津山ツンさんや数人のOBが熱心に練習を見に日参されるので、いい励みになりました。そこには見に来るだけの価値がある活気溢れる練習風景があったればこそでOBと現役陣の間にも一体感が醸成されて、いい雰囲気満ち満ちていました。水泳にうち込み試練をのり越えようと努力する過程の中で明朗で不屈な、他人の痛みがわかる人材が排出したと信じます。学業とスポーツにおいて現役の生徒諸君の更なる奮起を切望します。OBの同窓生に於かれても、我が母校、伝習館が

全国制覇の偉業を成し遂げたことを語り伝え、その栄光と誇りを胸中にいつまでも自分達のものとして、共有し続けて戴くよう願ってやみません。

## 備忘録

①伝習館にプールができたのは昭和四年五月。25米、幅10米、六コース、瑞松院の方へ約5糧六コース側が低く傾斜あり。あおこ、ゲンゴロ虫、水スマシや赤虫が住む、透明度ゼロに近し。

②初代部長 岩石先生

私財を投じプール造りを推進。くず湯を自費供給、資産家の出

二代目 確井先生

三代目 大津山先生

耳が遠いが悪口言々とゴツンと打たれたり、ツンさんの渾名で愛された

長期に亘る名部長

以下、今村先生、橋本先生、緒方先生と続いた。

③プールの無い頃は川で泳ぎ試合には大敗。

大正〆昭和初期は矢部川の朝鮮松原の井堰のかみ手に棒杭、板仕切りの仮設の水泳場やら高畑のドロ橋〆欄干橋(太鼓橋) 間の川で練習。

④先輩スター列伝

淵上純治氏(中44回)

日米対抗戦出場(大濠プール)

水泳一家4人兄弟の二男、高畑出身

S10年10月ベルリンオリンピック予

選会にも出場。自由形千五百米、八

幡製鉄

山本恭之介氏(中45回)

背泳、早大水泳部で活躍。細工町出

身 日米対抗戦出場

待鳥啓三氏(中55回)

第一回S21年宝塚プール国体百米背

泳優勝 枝光出身

中島雅好氏(併中1回)

S24年高校選手権百米、五十米背泳

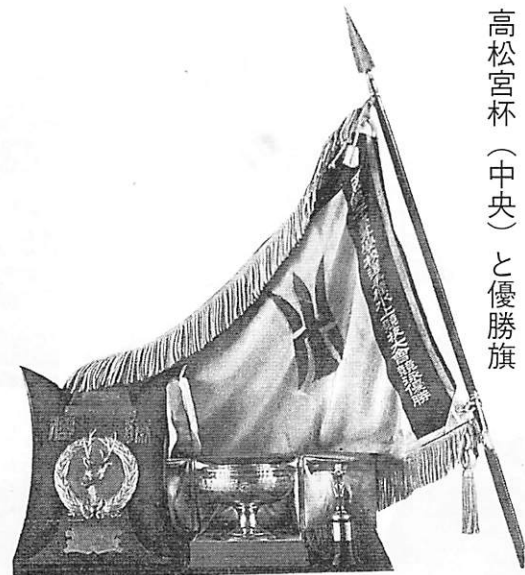
優勝 藤吉出身

## 柳川河童の誕生話

柳川町旭町の大松下あめ本舗の四つ角の所に住んでいたので、宮地獄神社の前の川や、川口製材所と若力旅館に架かる思案橋、次には高畑公園正面の欄干橋とその上のドロ橋や最も深くてカッパにひっぱられると噂のあった椿原町と新町の境にある水門へと行動範囲を拡げて行き、橋の上からゴンボ入り(足から入水)で飛び込みが出来てやっと一人前のガキと認められたものです。遊びながら泳げるようになり毎日、夏ともなれば唇が紫色になるまで皆んなと泳ぎました。マコモの根っこの先の白い茎芽はほの甘くサクサクとした食感があつて、引っこ抜いては食べた想い出が切なく懐かしい。昔の柳川は川や川魚、川辺の風景が子供達を温かく育みました。プールは伝習館にしか無くて、水泳部に入った誰しもが矢部川水系の川や掘割りで藻やアシ、コモを自然の友として泳ぎを覚え、伝習館に入学して、はじめてプールで泳ぐという極

めて自由なのんびりした環境のもとにスリーマーの雛が誕生した時代でした。

## 高松宮杯(中央)と優勝旗



高松宮杯

西部大会  
優勝盾



3年生

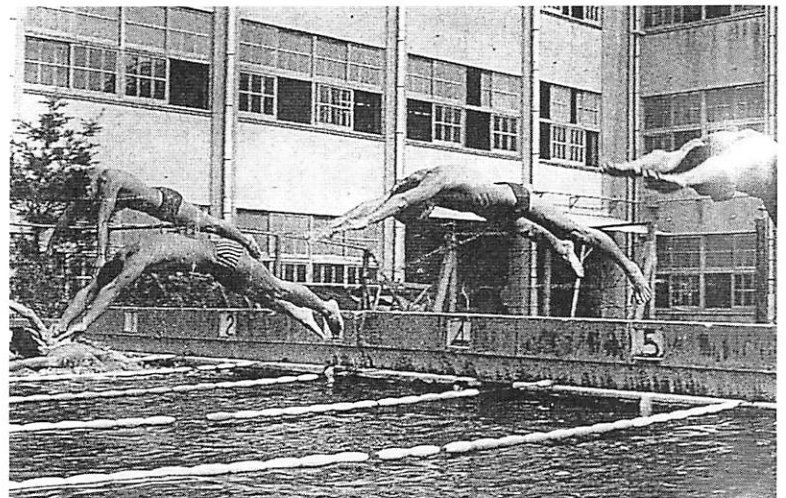
緒方先生、横田

酒井、後藤

石橋、一郡

待鳥先生、大橋

800米 リレー (200米×4)	200米 平泳	200米 自由形	1500米 自由形	100米 背泳	100米 自由形	100米 平泳	400米 自由形	50米 背泳	200米 リレー (50米×4)	競技種目
古賀、石橋、酒井、横田 9分22秒8 单独校高校新記録	①後藤勝右 ②山田求 ③一郡辯 3分3秒6	①横田宣明 ③古賀学 ⑥酒井 2分18秒0 ナガシ	①石橋明 ④今村 19分38秒6 21分52秒4	②柿野繁喜 ④田中 1分17秒8 1分20秒0	③古賀学 ④酒井 ⑥大橋 1分2秒6 1分4秒6	②後藤勝右 ③一郡辯 ⑤山田 1分18秒8 1分21秒4	①横田宣明 ②石橋明 ⑤今村 4分55秒6 5分30秒2	①柿野繁喜 ④田中 35秒2 36秒4	②古賀、横田、石橋、酒井 1分54秒0	伝習館高校
3/30	6/27	4/21	3/17	2/14	1/12	3/11	5/8	3/3	0/0	得点
木村、鈴木、川口、井原 9分24秒2	①後藤勝右 ②山田求 ③一郡辯 3分3秒8	②木村正 ④井原 2分18秒4	②川口友平 ③鈴木曠 20分22秒8 21分31秒4	①小松茂 ③柴田昭士 1分17秒6 1分19秒0	①木村正 ②井原 1分2秒4 1分2秒4	①井原孜 ④後藤 1分18秒0 1分23秒6	③川口友平 ④鈴木 4分59秒4 5分26秒8	②柴田昭士 ③小松茂 36秒4 36秒4	①井原、柴田、鈴木、木村 1分53秒4	伊東高校
0/24	0/24	2/24	3/22	4/19	5/15	3/10	1/7	3/6	3/3	得点



練習風景 (昭和30年頃)



# 伝習館陸上競技部の最も輝いた日 (東京陸競会)活動報告

高28回(昭52年)卒  
吉開 孝人

始まりのきっかけは、1998年夏、日本橋三越前「精養軒」での学年幹事会でした。

歓談の中で、昭和22年卒の江崎和夫さんを筆頭に、44年高巣和登、46年北原富美男、51年高田浩一、そして私と、陸上競技部経験者が何と5人も居合わせていることが判明。早速この5人を発起人として首都圏在住者の集まりを開く段取りとなりました。

元々母校には、代々の顧問の先生・OB方のご尽力の元、「陸競会」が組織されていて、毎年夏に現役選手を交えて例会を開くなど充実しており、名簿からの首都圏在住者リストアップ(当初28名)は比較的容易でした。

第1回目の開催は、同年11月、陸上部OBで昭和27年卒の関雅好さん店主の渋谷「屯喜朋亭」で行い、20名が集まりました。(写真)その場で会の名称を「東京陸競会」と定め、初代会長を前記江崎さんにお願ひする事となりました。その後

会員消息の追跡調査も進み、現在では34名のリストとなっております。

昨年は嬉しい出来事がありました。在校生の藤丸隆文君(3年、三橋中出身)が男子走り高跳びにおいて、茨城インターハイ(8月1日開会、8月5日競技)に出場出来た事です。本会では、競技終了日の夕刻、ホテルグランドパレスにて祝賀会を催し、一同大いに盛り上がりました。

インターハイといえば忘れてならないのが、昭和28年、陸上女子全国制覇の快挙でしょう。

100m	城島祥子	1位(6点)
	岩丸絹子	5位(2点)
200m	岩丸絹子	6位(1点)
走り幅跳	福山さくら	2位(5点)
4×100m(走者順)	福山さくら	
	岩丸絹子	
	古川美津江	
	城島祥子	1位(6点)

合計20点。堂々の総合優勝でした。(古川さん以外の3名は東京陸競会会員です。8月の祝賀会にも揃ってご出席頂きました。)

当時の貴重な写真が、母校に保管されておりましたので、掲載させていただきました。

写真についての解説・コメントを主将の岩丸さんから頂きましたので、以下ご紹介させていただきます。

『秩父宮妃殿下より優勝カップ(総合

優勝)を戴いているのは、私、旧姓岩丸です。夕闇迫る三ツ沢競技場(注 横浜市)で四人並んで写っているのは、右から旧姓古川(上月)みずえ、福山さくら、城島(古賀)祥子、岩丸(高橋)絹子の四人です。オープンカーこと、トラックで市内をパレード出発前の一時で、旧国鉄の柳河駅前。大勢の友人たちが制服姿で歓迎してくれました。

立石先生、と、帽子をかぶった石橋先生の懐かしい姿があります。優勝旗のそばで笑っているのは古川さん。次は城島さん、顔だけ見えるのは私。さくらさんはトイレにでも行ったのでしょうか!? 三人が写っています。そう!! これから伝習館までパレードしたのです。以上、なつかしい我々の晴の写真でした。』

高校生アスリートにとってインターハイ出場は最大の目標であり、夢です。夢の実現に向けて頑張った3年間という共通の思いが有ればこそ、世代を超えての集まりでもすぐに打ち解け合えるのでしょう。立石・石橋両先生という名物指導者の話題も格好の肴です。来年(2004年)は千葉での開催とか? 発足から5年目の東京陸競会も、千葉インターハイへの応援に馳せ参じるのを楽しみに、一層の団結を図ってまいります。

尚、東京陸競会では陸上部のみならず、幅広く運動系クラブ経験者の連帯を呼びかけ、東京同窓会全体の活性化の一助といたく考えております。窓口は当面筆者が担当致しますので、よろしくお願ひ致します。また、未だ東京陸競会から声を掛けてもらっていないという方も是非ご一

報下さい。

携帯電話：090-1254-9305

e-mail: takato\_yoshigai@sonylife.co.jp





## 桜と原監督の色紙

高14回卒  
吉田(堤)節子

当会副会長万紗子姫のツルのひと声で二年前、学年幹事を仰せつかりました。昨年九月会報創刊号に幹事として一筆書くように言われてたじろぎました。でも姫の命には逆らえませんが、しゅしゅ筆を取る破目になりました。

昨年夏、親友の川原トシ子さんと一緒に欧州旅行してきました。その折、ローマ在住の伝習館同期、綿貫直諒(なおよし)画伯を訪ねました。彼は三橋町出身で東京芸大油画大学院を卒業し、ローマにアトリエを構えています。「家よりも桜の木が気に入って買ったのよ」と奥様。樹齢三〇〇年の大木です。綿貫画伯は風景画を得意としますが、桜を今回初めて描いたそうです。今年十一月、銀座松屋で綿貫画伯第九目の個展が開かれます。私たちは個展に先立ち、拝観の榮に浴しました。カメラに収めてきたこの力作は、新年にふさわしいので本誌表紙を飾らせていただきました。綿貫邸では奥様心づくしの手料理と自家製のワイン

で、楽しいひとときを過ごしました。本年十一月の個展には、読者の皆様が一人でも多くご来場下さいますよう、この紙面を借りてお願い致します。

巨人軍原辰徳監督の母君とは以前からの知り合いです。昨年七月開催された東京同窓会の景品に、原監督のサインをお願いしていましたが、監督なり立てでシーズン中は超多忙のため叶わず、残念に思っていました。去る十一月二日朝、母君から突然「辰徳がやっとなつかまりました。さて、宛名はどうしましょうか」と電話。「あら、うれしい。では「伝習館東京同窓会」でお願いします。」届いたサインをここに掲げます。83の背番号がちゃんと入っています。監督一年目にして巨人軍リーグ優勝、しかも日本シリーズでは西武を四一〇と一方的に下して、日本一の座を勝ち取りました。これからが楽しみです。

原監督の父君は以前、東洋高圧(現三井化学)大牟田の野球部に十一年間席を置いたことがあります。三池工業高校を甲子園優勝させた実績を買われて東海大に引っぱり、東海大相模高校でも一度ならず全国制覇したことで有名です。

江崎会長が十余年前に三井化学大牟田の所長時代、会社OBでもある父君を呼んで講演をお願いした時の内容の一部を引用します。

「東洋勤務中に私は九大の通信教育「トレーニングコース」を受講し、スポーツ選手に必要な食べ物の基本を勉強しました。息子の辰徳には「おれは駄目だが、

お前はサラブレッドだ」といつも言いさせて、三歳の時からトレーニングさせました。東洋住宅の二〇〇メートルの坂道を毎日駆け足で走らせました。この子は体力的にはしっかりしています」  
遺伝子もよい上に、父君はわが子を幼少の頃から今日を夢みて鍛えてきたのです。辰徳監督は体力のみならず統率力も抜群で、初年度でいきなり巨人軍を日本一にしたのだから、父君の子育ては十二分に成功したと言えます。

このサイン紙は次回東京同窓会の景品にしますから、巨人ファンの方ご期待下さい。

年の初めに当たり、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り致します。





# 伝習館掲示の源を訪ねて

(中国江西省白鹿洞書院紀行)

安東省菴頭彰会 会長  
高17回卒 立花民雄

地方の時代とグローバル社会のなか、国際人として自分の言葉で自国の文化、郷土の文化を語る必要にせまられていきます。学ぶべきは柳川学であり日本学です。安東省菴先生没後300年記念事業に「教育」「人づくり」という観点から足元の歴史、文化を見直す提言をしてゆく中で、地方の気質をもっと大事にする報告がなされました。

柳川人の気質は柳川人が育んできた事実を思うとき、藩校としての伝習館の役割の大きさに改めて感心したところがあります。

## 伝習館「白鹿洞書院、掲示」について

各地に気風気質がありますが、江戸幕末頃各藩のほとんどの藩校には「白鹿洞書院掲示」なるものが掲げてありました。そしていまだにそれを掲げている学校のひとつが伝習館高校です。

この掲示は、南宋の儒者朱子が書院再建のときに掲げた額です。内容を大別す

ると、学び、教える五つの目的（五教の目）、学ぶ心構え（学を為す序）、身を修める要、事に処する要、物に接する要からなり、その解説の全文と伝習館の掲示は、創設者立花鑑賢公の加筆文からなります。

では、江戸時代この「白鹿洞書院掲示」を各藩校に掲げるように誰が指示したのか、指示がなく偶然に各校採用したのか、どういう経緯でそうなったのか知りた

い。もしかして、あの朱舜水が関ったのか、影響したのか、知りたい。

朱舜水が後世日本に与えた影響を思うと、省菴が彼の生活を扶けなかったら、中国に止まっていたなら、舜水は絶対頭角を表さなかった。なぜなら舜水は、科挙の試験に不合格、時代は清、必要とされなかった。日本に滞在したからこそであり、省菴が舜水の力量、能力を見出したからだと思う。（千葉商大、朱先生談）  
司馬遼太郎「朱舜水を日本人はどうして好きなんだろう、たいした事無いのに……」街道をゆく・NO37本郷界隈

司馬遼太郎に疑問を投げかけられながらも、めげず、省菴が伝習館に影響を与えたように、舜水が各藩の藩校に影響したとするならば……

白鹿洞の洞と書院を見たい、この夏、急に思い立ちタダひたすら白鹿洞書院へ行つて参りました。

行き先は江西省の省郡、南昌を經由し中国の避暑地、漢詩や毛沢東の会議で有名な廬山の麓です。上海から約1200

キロの村です。

中国の古典に明るい友人に手配をお願いして、8月20日福岡から上海へ二日半振りの旅をしました。上海空港に旧知の浙江省社会科学院の研究委員、銭明先生に出迎えていただき四泊五日の案内をかって頂きました。上海から南昌まで11時間の夜行列車の旅です。4年前、上海の駅が鶏やアヒルまで汽車に積み込む出稼ぎの人でごった返していた光景を見ていたのでそれなりの覚悟はしていました。が、以前空港から駅まで1時間半掛かっていたのが僅か30分で着き、駅前の様子がすっかり綺麗になっているのに驚かされました。

列車も我々の寝台車は通路に段通が敷いてあり、かつてのブルートレイン式の三段ベッドで比較的衛生的でした。銭明先生曰く、「ここは二等車、一等車は満席で取れなかった、中国人が豊になり一杯で」と実にニコニコと話されました。途中から女子大生が乗り込み、一人旅が出来るほどになったのだと、豊かさが物だけでなく行動までも短期間のうちに変わってゆくさまに驚きました。但し寝台のカーテンが無いので緊張してあまり眠れませんでした。

南宋から明代にかけて江西省は浙江省に次ぐ文化の都です。有名な書院が集中しています。朱子をはじめ王陽明、陸象山たちが活躍した土地柄です。

南昌から高速バスで約2時間半、かつて日本の租界地もあった軽井沢に雰囲気似た廬山で一泊。毛沢東の「廬山会議」を日本で出版された、作家の羅時叙先生

に案内をしていただきました。

翌日、朱子の原文は果たして有るだろうか。胸躍らせながら山を降り、一路白鹿洞へ約1時間、(中国の先生方はあまり興味なさそう)、どんな所か白紙の状態で、但し「ほこら」ですから山の中かなぐらいのイメージでした。行つて納得、側に小川が流れ実に閑静な場所、勉強、思索にふけるのにうってつけの場所に思えます。書院とはそんな静かなところにあるらしい。

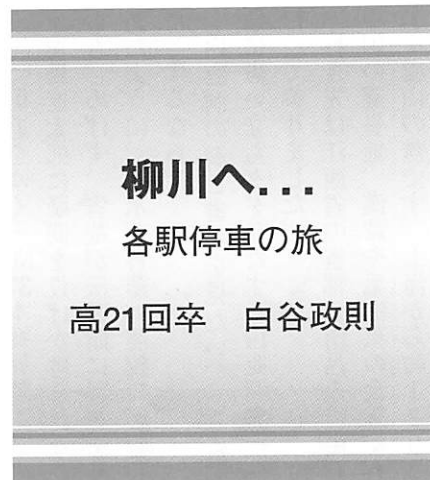
さて、石刻の朱子の掲示はないかと目を凝らして探しました。王陽明研究家の銭明先生は陽明の足跡を発見し、いたく感動的。幾つにも連なる建物群を歩きながら、ついに発見「父子有親、君臣有義、夫婦有別、長幼有序、朋友有信……」だが、どうもイメージが違う。確かに朱子の解説全文もそこにはあるが、末尾に年号が書いてある。訊ねてみると、清代の年号でした。

書院の代表をされている関正国先生に案内を受けました。残念ながら掲示の朱子真筆はないそうで、建物のほとんどが清代に建て替えられたそうです。それも良しとする。

朱子の頃(南宋代)500人から1000人ぐらいが学んでいたそうですが、教室に入れない人は緑陰講座だったそうです。全国からここに集い、さぞ賑やかだったことでしょう。でも、ふと本場に皆真剣だったのかな、箔をつけに来ただけの者もいたのではと頭をよぎりました。今は寒村となり訪れる人もまばらでした。

帰路、銭明先生らと語る中で、中国の学者はこの白鹿洞掲示が日本の藩校に掲示されていたことは誰も気付いていないのではとのことでした。先生にもやっとな度たびの目的、そしてその意味と意義がわかったようでした。

2年ぶりの中国のすさまじい変わりようを見てきましたが、進んでいるところと遅れているところ、新しく古く、安全なのかやっぱり危ないのか、矛盾だらけの国を実感してきました。



一口に帰省と言うけれど一家四人交通費も馬鹿にならない。飛行機は早割だ、回数券だと色々サービスがあるが、正月は使えない。新幹線は高く予約も大変。「えーい、めんどろだ！ 今年は青春18キップで帰る」父の一声に皆んなあざれたとばかりに「ゲエー」

◎青春18キップ：一枚の切符でJR線一日中乗り放題。五枚綴りで一万一千三百円。急行・特急・新幹線は利用できない

家族の意見

父 48才 不景気な世の中、贅沢はダメ。強硬な賛成派

母 46才 いい年して何てバカな事言出すの！と絶対反対

長男 17才 中立。何ならヒッチハイクにする？

長女 15才 強烈に反対していたが、お年玉一万円あげると言ったらコロッと賛成する

かくして2対1対1。一九九九年の正月は各駅停車での帰省となる。

あまり細かくスケジュールを決めるとせっかくの鈍行の旅が台無しになる。前もって京都21時30分発、ふるさとライナー九州の座席指定券(別途五百円)のみ予約し、あとは時刻表片手に行きあたりばったり。

十二月三十日～三十一日

荷物は宅急便で送り身軽な汚れてもいい恰好で家を出る。朝九時すぎ最寄りの鶴見駅から青春18キップで入場。横浜で各々弁当と飲物(ビールとつまみ)を調達し、東海道線に乗り込む。しかし、熱海行きのこの電車は全く都会の普通の電車。年末の混んだ電車の中、ビールを飲む勇氣はない。熱海からは一つのボックスに四人座ることができ、弁当をひろげるとやっとな旅の雰囲気になる。トンネルを過ぎれば雪国でなく富士山が姿を現し「ウォー」と小さな歓声があがる。声を出したのは我々の他数人。まさか地元の人がいちいち声を出すことはあるまい。景色を眺めながらビールを飲むか、居眠りするか。何もすることがなく、又、何にも考えることも無く、ゆったりとしたひと時を過ごす。そろそろ飽きる頃浜松に到着。乗り換え時間は三分。ダッシュするまでもなく同じホームの隣の電車に移動。さすが最近のJR、無駄なく乗客へのサービスに気を使っている。電車は時刻表どおり各駅に確実に停まり、一歩一歩距離をかせぐ。相変わらず何にもすることなくほんやりと外を眺め物思いにふける。テレビの「世界の車窓から」ではないが日本の車窓からの風景も捨てたも

のではない。海辺に散在する小さな集落、枯れた山肌、夕暮れと共に遠くにちらつくネオン、郷愁を感じさせるのは郷里への旅のせいなのか、あるいは年のせいなのか。そうこうするうち米原で乗り換え、陽もつつぶり暮れた19時すぎ京都に着く。

ふるさとライナー九州の出発まで二時間以上ある。食事までケチることはない。と新装なった駅ビルの小料理屋に入りますが、京都の上品な味は我々の舌に合わない。このわた、湯どうふと酒の肴にまで子供の箸がのびる。結局ビールとつまみだけで腹ごしらえはラーメン屋に入り直す。田舎者の我が家はいつも安上がりになってきている。

21時30分発の列車に乗れば博多まで乗り換えはない。二人づつ向き合い、足を伸ばし翌朝までの長時間にそなえる。しばらくはこまめに停車するが、姫路を過ぎると快速区間になりいつの間にか眠ってしまう。腰が痛くなる度に寝返りをうち、薄目を開け時刻を確認。ここは岡山あたりか、あるいは広島まで来ているのか。乗客のざわめきで目を覚ませばもう小倉駅。外はまだ暗く頭もほんやり。博多に着くとまず背伸び。地下鉄西鉄を使えばてっとり早い。今回はあくまで交通費の節約なので大牟田までJRで行き、そこから西鉄に乗り換えることにした。横浜の自宅を出て丁度24時間、三十一日朝九時柳川へ到着。

一月一日～二日

福厳寺の除夜の鐘、山王さんへの初詣は夜のうちにすませ、元旦の朝一家二十

一人勢揃いして正月を祝う。毎年のごとで何の感慨もないが、有明海のタイラギ、ハゼクチの煮付けは旨い。このときだけは柳川で正月を迎えた甲斐があったとしみじみ思う。親の元気な間はできるだけ柳川へ帰ることにしよう。

一月三日～四日

郷里での正月はあつと言う間に過ぎ、帰りも又鈍行の旅である。博多では玄界灘の味を食する事にする。イカの糸造り、フグ刺・から揚げ・雑炊と子供達も驚く大判振る舞い。勿論、父はヒレ酒で夜行に備える。往きとほぼ逆のルートだが、朝京都に着いてからが長い。電車の中では皆黙らまり。夕方、横浜に着く頃にはグツタリ。やはり、夜行の後の行動は短くないとつらい。この旅の反省点である。しかし、なんだかんだと言いながら思いつきにはなつた旅であった。

さて、今年も四年振りの帰省、どんな方法で帰るかなあ：

追記

費用は、子供へのお年玉、食事代を含め10万円以内で済みました。

**「東京で見られる  
柳川のさげもん」**

高10回卒  
永倉(跡部)素子

「もう、飾っていらつしやいますか？」立春が過ぎた頃、電話で千鳥屋さんにお尋ねするのが、この二年ばかりの季節のご挨拶がわりです。

最近、ふるさと柳川では、お雛祭りのさげもんが、大層華やかに飾られると聞いています。その「さげもん」を、駒込の東京千鳥屋さんが、お店を入れて右側に、それはそれは可愛らしく、一寸都会風にお飾りです。

ご実家立花家から、お孫様へのお雛様のさげもんを、倉庫に仕舞ったままでは勿体ないと、原田万紗子さん(13回卒)がお店に飾られる様になつて数年とか。

早春の花々が、抱えきれない程の大きな壺に華麗に生けられたそばで、それに負けない華麗さと可愛らしさの「さげもん」を拝見するのは、心浮きたつ春の先き取りです。

JR山の手線駒込駅を降りて、北口へ出るとすぐ信号があります。信号を渡って右に曲がり、二三分歩きます。地下鉄南北線の駒込駅出口を過ぎると、もう、

そこは千鳥屋さんのビルです。

磨かれたガラスの扉に入ると、きびきびと、しかも何やらおっとりとした風情の女性社員の方が、お茶を出して下さいます。八女茶でしょうか。お菓子の陳列ケースを横目に、「さげもんを拝見させて下さい。」と声をかけて、可愛いさげもんのひとつひとつを、しっかりと目に納めます。そして、今年も自分もお雛様を飾ろうという気持ちになるのですが、大抵は、六十余年前の自分の初節句のお内裏様と、お道具類を並べるくらいで三月を迎えてしまします。千鳥屋さんのお菓子求めて帰途につく早春の一日は、ふるさと柳川を想う、気持やわらぐよき日です。

じつは、この駒込の「東京千鳥屋」さんは、伝習館東京同窓会事務局でもあります。万紗子さんが、千鳥屋の専務さんであり、事務局としてこのビルの一室を使用させて下さっているのです。同窓会の行事の際は、会議室の一室で様々な事務が、江崎会長、副会長(万紗子さん)事務局長、学年幹事の皆さんによって行われています。千鳥屋さんの社員の方々も、準備等お手伝いして下さいます。

早春には、同窓会を身近に感じられる所として、さげもんと、お菓子と事務局のある千鳥屋さんに、足を運ばれるのも一興かもしれません。そして時間があれば、徳川五代將軍の寵臣、柳沢吉保が、元禄八年に築いた江戸の二大名園「六義園」を散策する……。千鳥屋さんから徒歩数分、すぐの所です。今年も立春が待たれます。

**嬉しい出会い**

旧中56回卒  
成清良孝

二年に一度の伝習館東京同窓会は、さる七月二十一日(日) ホテル グランド・パレスのダイヤモンド・ホールで開かれた。

これまでの江口三千雄会長(昭和四年卒)が勇退され、一挙に二十二年も若返つて、江崎正直氏(高校二回生)にバトン・タッチされた。彼は抜群の企画力と行動力の持ち主で、東京同窓会の活性化に並々ならぬ意欲を持っている。

今度の同窓会に、久しぶりに同期の松本一郎君が出てきた。めったに顔を出さない人であるが、会の進行中二度も、「出席してよかった」と、しみじみつぶやいた。人格高潔で深い思索に裏づけられた彼の一言は、軽佻浮薄な贅言ばかり弄っているわたしの百万言以上の価値がある。

会は、服部料理専門学校理事長というより、テレビ・タレントとして引つ張り風の服部幸應氏の講演「食育のすすめ」から始まった。ユーモアやギャグを間断なく連発しながら一時間、聴衆を全く飽きさせなかった。

同窓のソプラノ歌手筑場亮子さん（高校四十回生、東京芸大卒）の「白秋を歌う」は、たちまち会場を華やかなムードに包み込んでいった。郷土柳川の物産のお楽しみ抽選等も、今度副会長になった原田万紗子さん（高校十三回）のプロフエッシヨナル顔負けのめりはりのきいた鮮やかな司会によってスムーズに進行した。

わたしのようなひねくれ者でも、煌々としたダイヤモンド・ホールでの活気に満ちた数々のイベントを眺めながら、「ああ、まがりなりにも、おれは伝習館の卒業生なんだ」という心地よい連帯感にうっとりしていた。

会が終わって帰るとき、松本君が「今日はほんとうによかったよ。強く勧誘してくれた君に感謝する」と言った。

というのは、彼にとつて、ゆくりなくも嬉しい出会いがあったからである。

それは故古澤芳吉先生（昭和七年卒）のご長女石橋淑子さん夫妻に会ったからである。ご夫君の石橋修さん（高校六回生）と淑子さん（高校九回生）は、同窓会にいつも鴛鴦で参加する。

昭和二十一年から二十二年にかけて、松本君は女学校の世界史の古澤芳吉先生のお宅へ出入りして、人生問題や進学問題等を相談していた。その頃、古澤先生は、有志の何人かと仏教研究会を作っておられて、一か月に一度ぐらいの頻度で会合を持っておられた。

仏教研究会と言っても、抹香臭さは全くなく、仏教を論ずるのに、カントやヘーゲルが飛び出したりした。わたしも松

本君に誘われて、仏教研究会に出るようになった。松本君ははじめに仏教の奥義をきわめようという姿勢がはつきりしていたが、わたしには、むずかしい仏教哲学は、知能水準から言って、ちよつとむりであった。

ただ、その会には、中村ミツ、松澤久子、それに先生の奥さんの双子の令妹、前原玲子、鏡子さんら美少女たちが多数列席していた。まだ男女共学を享学していなかったわたしには、それはあまりに強烈な刺激だった。その席で、彼女たちとおおっぴらに話ができることが、仏教研究会出席の主な理由だった。（美少女たちはいずれも柳河高女昭和二十二年卒のバージン・ネームⅡ旧姓Ⅱである）

あの頃、まだ小学生低学年だったあどけない淑子ちゃんに、五十年ぶりに再会して、松本君は内心懐旧の情にさしぐんでいたに違いない。松本君の四百万画素のデジタル・カメラで四人並んで撮った記念写真は、柳川にご健在の奥さん多鶴子様（昭和十一年卒）にも送られた。

ちなみに松本一郎君は、大学在学中に司法試験に合格、判事の道を選んだ。

昭和三十四年（一九五九）三月三十日、東京地裁での砂川事件の決着は、あまりに有名な「アメリカ軍駐留は憲法第九条違反である」という伊達裁判長の判決である。その折、松本君は陪席判事補として出廷。「中央公論」にも載った判決本文のほとんどを、松本君が起草したという。

その後、大学教授をつとめながら、弁護士を開業した。

## 山登りの楽しみ

高10回卒  
大島（田中）喜代子

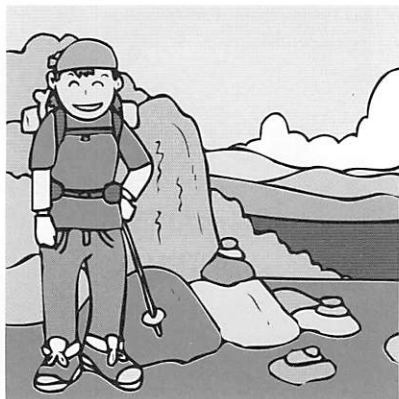
高校卒業して早や四十数年、気持はまだ、青春の延長と自負しても、体力は下り坂。老化にブレイキをかけた、登山を楽しんでいます。今夏は、念願の北岳へ近所の方と登りました。昨夏上高地を通り徳本峠より、蝶ヶ岳へ登った時、あ

つもあまり高い山には登れないのかなーと思う程調子が悪く、それでも、槍ヶ岳、穂高岳、常念岳を目の前にした時には、感激ひとしお。奥穂には紅葉時、娘と登ったなー。日の出の美しさ、頂上からは上天気恵まれ、はるか彼方の富士山まで見え、自然の雄大さに思わず手を合わせました。姿の美しい常念岳へは、中房温泉より三人のおばさん登山隊。燕山荘で夕食後、主の赤沼さんのアルペンホルンの演奏を聞き、翌日常念目指して出発。でも時間切れで手前の御天井岳でひき返し残念でしたが、表銀座の名の通り、眺めの雄大さは忘れられません。

又高山植物の魅力も山登りの喜びの一つです。白馬岳も大雪渓を登ったあと、美しいたくさんの花々に出会い、感動しました。もう一度登りたい山です。同期

の友ともたくさん山へ登りました。特に八ヶ岳は中島哲夫さんをリーダーに、オーレン小屋泊。翌日主峰の赤岳めざして登山。駒草の群落、何十種類もの高山植物に見とれ、歓声をあげているうちに、山は薄暗くなり、とうとうヘッドランプをつけて下山し、予定外の美濃戸小屋泊という思い出深い山行でした。思い出深いと言え、昨年箱根の金時山に登り、曇りで富士山は見え、がっかりしていたところ、目点になる程の出来事が起りました。福岡在住の長兄田中茂（二回卒）夫婦が頂上にいたので。双方驚きました。習志野の娘宅に昨晩着いたという事でした。

今です。



## 関西と関東の 同窓会に思う

高12回卒  
甲木宏明

東京に転勤で10年前に来まして快適な  
單身暮らしを続けています？

この広い関東平野には様々な文化施  
設、娯楽施設に加え豊かな山河に満ち溢  
れ真に魅力的な所だと感じています。

東京の著名な美術館、博物館を巡り歩  
きました。環境も素晴しくとても印象  
に残っています。目黒の庭園美術館、皇  
居に面した出光美術館、上野の森の美術  
館、博物館等々が交通至便な場所に在る  
のが好いですね！

それに皇居を始めとして大名屋敷跡の  
庭園鑑賞も東京ならではと感じました。  
最近では低山ハイキングを同級生と毎月  
楽しんでいますがストレス解消と健康維  
持にとても良いようです。

ところで東京に来るまでは卒業以来関  
西で暮らしていました。何となく違いを感じ  
ています。大学は京都、その後は大阪で  
生活し関西弁（柳川なまり）をしゃべっ  
ては居りましたが東京に来て又変化？

人情、気質も違うようで関西は人懐こ  
く、気軽に話しかけてきます。

ですから人の輪も広がり易く親しく為  
るのも早いのかと思います。

関西同窓会の役員、幹事の皆さんを始  
め会員の方々との交流も活発で親近感を  
持ちますが関東は何となくそんな雰囲気  
が無いように感じるの日は浅いせいで  
しょうか？

同郷でありながら其の環境で気質も変  
わっていくのか？ とふと思います。東  
京の同窓会は関西より組織も内容も充実  
していると思っていました。意外にも  
これからと言う感じで驚いています。

同級生の集まりは「くっぞこ会」があ  
り毎年会食をして親交を深めています。が  
先輩、後輩の皆さんとの交流の機会が総  
会だと思えますので会場の設営、企画趣  
向を考えてみるべきかと思えます。

会員の名簿も作成し広く配布をして会  
員相互の情報交換に役立てることも必要  
かと思えます。

郷土を同じくする者だけが共有できる  
ものを同窓生の集いで確認し安堵するそ  
んなものを求めているのかと思うので  
す。

郷土意識と言う点で関西は非常にそれ  
が強く、大阪、京都、神戸、奈良、和歌  
山、滋賀それぞれに強烈な個性を發揮し  
ますが、関東ではむしろそれが希薄でみ  
んな東京依存、東京イズム、東京文化に  
染まり関東平野が東京かと勘違いするの  
を感じます。大都会東京でもっと住処の  
文化を吸収し同時に故郷との想いをもっ  
と強くしたいものと思っている今日この  
頃です。

そうそう関西では同窓会のコンペも年

2回開催し4〜5組が腕前を競っていま  
す。名幹事の今村由美子（旧姓、11回）  
さんがお世話をしてくれますのでもう14  
〜5年続いています。とても楽しく和気  
藹々の雰囲気ですよ。こちらではくっぞ  
こ会のおかげで同級生同士の交流も活発  
で飲み会や食事会の機会もあり単身の身  
としては大変有難く感謝しています。

今後は交流の幅が上下にも広がってい  
くのを楽しみにしています。

## 同期のゴルフ仲間

高10回卒  
森永邦彦

第10回卒幹事の内山秀生君より伝習館  
東京同窓会で会報を発行するので、柳川  
同期会のゴルフ活動について書いて欲し  
いと依頼がありました。記念すべき創  
刊号にレベルの低い我々のゴルフを掲載  
するのはおこがましいかと思いましたが、  
恥を忍んで紹介させていただきます。

昭和63年古賀信義君の音頭で、2組が  
伊香保温泉に宿泊し開催して以来14年  
間、メンバーや友人の会社施設やホテル  
を利用し、伊豆・那須・群馬・千葉・長

野方面と転戦を重ねてきた年数だけが誇  
れる会です。

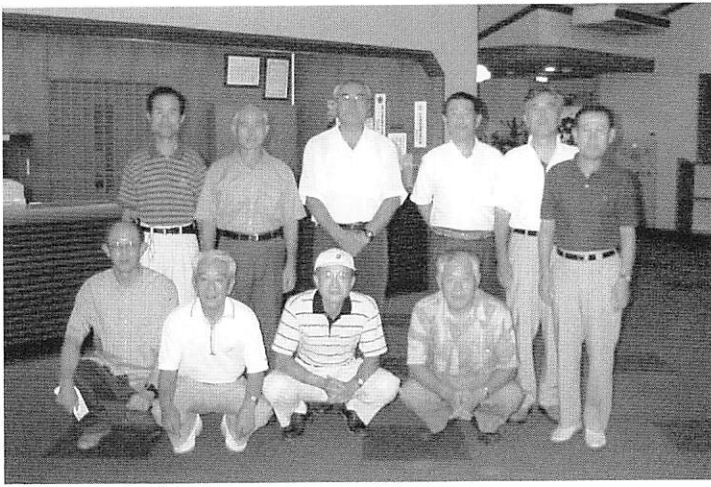
昨年は、長野在住の山田耕三君の紹介  
で、長野冬季オリンピックの優勝者里谷  
選手で有名になった飯綱高原にある別荘  
地に一泊し夜は懇親会とカラオケで盛り  
上がり、三組が避暑地のゴルフを堪能し  
ました。好評だったので秋も長野に集い、  
雲一つないスカイブルーのもと高原の爽  
やかな気分ひたり浩然の気を養いまし  
た。

気の置けないメンバーは、発起人の古  
賀君、若い頃は80台を連発していたよう  
です。コンペの商品は彼の店の有明海産  
海苔とお茶です。皆で故郷の味を懐かし  
んでいます。

古賀雄次郎君は自衛官退官後参加して  
いますが、海上生活が長かったのに腕前  
は常にベスグロ候補です。原田智昭君は  
テニスに凝っていましたが、最近ではゴル  
フに熱中しプロの指導のもとメキメキ腕  
を上げ、長野ラウンド秋の優勝者です。  
内山君はまだまだ体力的にもテニスに自  
信があり未練も残っていて、今後の練習  
次第で腕が上がるでしょう。緒方信彦君  
は東京オリンピックのハンマー投げ選手  
を目指した経歴の持主です。石橋博君は  
高校時代から体格に恵まれサラリーマン  
生活にも耐え抜き体力に技量もつき、二  
人は常にドラコン候補です。山崎寿男君  
は社長の性格が表れ楽しいゴルフに徹し  
ていますが、新しいクラブには目がなく  
すぐ飛びつきます。中島哲男君は山登り  
に凝っていますが、付き合えばよくゴルフ  
も再開しました。アイアンが正確でよく

ニアピンを手にします。山田君は剣道で鍛えた腕と海外での豊富なゴルフ歴、更に地の利を生かして長野の第一ラウンドを制しました。江口武君は一昨年から参加し安定したゴルフで、初出場初優勝の偉業を達成しました。平野善行君は仕事柄海外でのゴルフ歴が長くチョコレートが掛かると強くなります。小生、ゴルフ歴は長くなりますが、下手の横好きです。長野ラウンドは連続ブービーでしたが、夢の中ではシングルを目指しています。武田信人君・横山龍彦君・服部安昌君は伝習館卒ではありませんが、柳川出身の同期会のメンバーとして参加し盛り上げてもらっています。

さて、もう皆さんもお気づきかと思



ますが、残念ながらマドンナがいません。多少でも経験のある女性の参加を募っています。同時に、一回伊豆に宿泊しデュエットに胸を躍らせ、翌日はゴルフ組と女性の観光組に分かれ、ゴルフと紅葉を楽しんだ合コンも良かったなと想い起こしています。

## 2002 秋 雑感

高23回卒  
坂本智臣

3年前、庭先に植えた温州みかんと清見。今年やっと実を付けた。温州みかんは20数個、清見はたったの2個。でも嬉しい。黄金色になる日が楽しみだ。毎朝、起きると実が落ちていないか確かめる。台風がくると気がきでない。カラスも油断できない。心配が募る。

あと二ヶ月もすれば……カラス君、俺より先につまんだら絶対許さないぞ。

「あゝ、金木犀のいゝ香りがする」秋になると必ず聞くこの言葉。どこから漂ってくるのか。慢性鼻炎でいかれている鼻では、傍まで行かないと、この香りを感ずることのできない。そのくせ、セイタカアワダチソウの花は人一倍感じ取るらしく、鼻の中がピリピリして、不快である。なんとも厄介な鼻である。一生に一度くらい、妻より先に言ってみたい。

「あゝ、金木犀のいゝ香りがする」横濱・元町公園に妻と椎の実拾いに行った。我が家の秋の恒例行事になりつつある。幾分時期が早く収穫は少なかったが、早速、炒って食した。懐かしい味覚。毎年一月末の大川・風浪宮例大祭で、参道が一番手前に陣取り、香ばしい香りを漂わせていた椎の実売り。参拝後に買って帰るのが楽しみだった。

炒った椎の実を職場に持って行った。誰も食したことがないという。微妙な食感、くせになる味等の評価。椎の実は近くの公園にあるので、一度味わってみてください。

昨日、ラジオニュースで有明海の高苔の種付け解禁が報じられていた。中学入学以来、秋以降の休みには海に連れて行かれた。収穫期は冬真っ只中、朝早くから漁に出る。「なんで高苔は冬なんだ」。いつもそう思っていた。

30年前、高苔作りが嫌で横濱に出てきたが、やはり気になる。一昨年の不作時は憂慮した。それまで田舎を出て以来、

高苔が送られて来ない年はなかった。悲しかった。昨年は豊作で、友人、知人も配った。今年はどうだろうか。

今月末、高二の息子が豪州へ修学旅行。32年前の高二の秋、修学旅行で初めての大東京を愉しんだ。二日間の自由行動。後楽園、新宿ACB、夜のGSサウンドのライブ、etc. ちよつぷり(?) アルコールも……

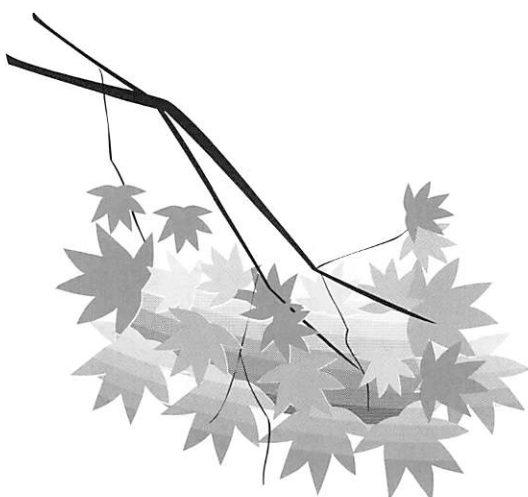
今や、後楽園は大きな卵に変わり、歌舞伎町もかなり変わった。懐かしい思い出だ。

さて、息子はどんな思い胸に詰めてくるのか。たぶん、聞いても教えてはくれないだろうが。

楽しい旅行となることを祈る。

○連絡先

自宅 045-621-0719  
職場 045-625-5014



# 先輩・後輩より-2

## 「昭20年入学の皆さんへ」

高2回卒 小野善睦

○訃報―水藤勝之先生。昨年十月ご逝去の由。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

○昨春秋の叙勲で佐野雍和君が勲四等瑞宝章を授賞されました。心からお慶び申し上げます。

○本年三月末を以て同期生全員がめでたく古希を迎えることとなります。

人生七十古来稀とか、七十而従心所欲、不逾距とか言いますが、また見孫の為に美田を買わずとも言います。あの世に金は持つて行けません。そこで今年同期会を盛大に、金に糸目をつけず「古希到達記念酒池肉林同期会」と銘打って開催したいと思っております。大方のご賛同を賜り、多数のご出席を期待しております。詳細は何も決まっておりません。同期といわず、同窓の皆さんからも「こんな企画でどうだ!」という情報を頂きたく切望しております。我々の同期は約百名が東京同窓会の管轄内に棲息しておるはずで、何とか最低五十名は出席者を確保したいところです。

○また古希の記念に同期の皆さんから当東京同窓会への多額の賛助金の協賛を期待しております。

## 高三回生情報

高3回卒 酒井清行

①勲四等瑞宝章を西山彰氏(教育)及び勲六等瑞宝章を富安武美氏(消防)受章。

皇居における親授式に出席のため上京の折十一月八日、ふくおか会館に於て同期生十一名が両氏を交え柳川弁で賑やかな祝賀会を催した。

なおかしこくも高三回生は天皇陛下と同学年です。

## ②ミニ同期会

伊豆・網代(十八名収容)にて一泊二食付(十八時〜二十時半)八千円の超割安懇親会を年二回六月と十二月に実施しとるけん出てみんかんも。ただし順番待ちの盛況状態ばんも。

問合せ先、樽見真治氏又は高木邦介氏へ。

③本木正義氏(もとき・まさよし)元トプロン社長) 9月27日肺がんのため死去、71歳。喪主は長女(以下省略)

(9/28付 日経新聞朝刊)  
同期生多数が別れを惜み送別した。

## ふくの会

高5回卒 岸栄洋・岸洋子(近藤)

私たち5回生の在京同期会は昭和29年卒の29に因んでふくの会と称する。最初に集まったのは、卒業から20年経過した昭和49年4月14日である。この年の4月29日に柳川で同期生の総会を行うと云う案内があったが、多くの人が出席したいが無理なので在京者だけでも集まれないかとの話になり、私たち夫婦が(同期生)樺島啓之、田中礼二、古賀耕造の諸君と発起人となり開催した。だがどこにいるのかよく判らないまま柳川の同期会の名簿をもとに59名に案内を出したところ、40名が集まり大盛況であった。まだ子育て真最中として子供連れで出席した人もいた。田中礼二君と古屋叡子さんが写真集と消息を持って柳川の同窓会に出席した。第2回は昭和53年、第3回は昭和57年、第4回は昭和59年に行い、第5回からは毎年行う事で今年の第22回まで続いている。第2回幹事の永江秀作君が名簿作りに非常に熱心で独自に詳しい名簿を作って呉れた。(氏名や旧姓や住所や電話は勿論、勤務先名と役職や住所や電話、配偶者名と生年月日、子供構成、出身中と出身大、高校1〜3年の所属組、単身者の留守宅電話など)毎回約10人の入れ代わりがあったが、その都度永江君が修正してくれ、今では約90名の登録メンバーがいる。彼が親の介護のため帰郷してメンバーからはずれたのは残念であ

る。この会の特色は幹事が組単位で毎回代わる事である。人数の多い組は一つの組で、少ない組は複数の組で受け持つ。これによりマンネリにならず、毎回新しい企画で会が運営されている。柳川に於いては今でも全体の同期会が3年毎に行なわれており、この会から何時も10名前後が出席している。柳川地区からも何時も何人かがふくの会に出席して呉れる。

最近有志でゴルフ会を始めた。年に2回程度行う予定である。参加希望者は私達まで連絡されたい。

松永肅君がこの度伝習館東京同窓会の副会長に選出された。松永君は昭和46年にホテルグランドパレスに入社したが、ホテル副社長の立花盛枝氏が伝習館東京同窓会副会長に就任され、総会が昭和47年よりホテルグランドパレスで開催されるようになった関係で、松永君は正式には何の役割も無かったが、立花氏の秘書的な立場で実質的に同窓会事務局を担当してきた。これは4年前に原田万紗子さんが事務局長になるまで続いた。松永君は東京同窓会の生き字引的存在であり、今回の副会長就任は30年近くにわたる彼の縁の下の力持ち的苦労が報いられた気がして同期生として誠に喜ばしい限りであり、今後の活躍を期待している。

二年に1回の東京同窓会も最近は面白くなった。講演会やミニコンサートや福引など盛りだくさんである。同期生は何時でも十数名が参加しており、今年度も阿津坂林太郎、沖美津正、大藪則子、岸榮洋、岸洋子、古賀弘、下河秀行、田尻允子、田中礼二、津村寿人、津留清水、野

口幹彦、松永悦子、松永肅、諸藤仁子、藤好亨の諸氏が出席した。次回も大勢の参加を期待している。

## 高六回卒から

高6回卒 石橋修

まず手始めに高六回卒のプロフィール。

昭和二十七年入学したとき、この学年には二人の中学日本一がいる、と紹介された。

陸上女子100メートルの城島祥子さん。水泳男子100メートル背泳ぎの中島常弘君でした。城島さんはインターハイ女子陸上で、伝習館を全国優勝に導いた中心選手。中島君は、常勝伝習館水泳部の伝統を引き継ぎ、その名を全国に轟かせた。兩名はそれぞれ中央大学、立教大学に進学して競技を続け活躍した。

在学中、北原白秋の生い立ちを日活が映画化し、「からたちの花」が柳川でクランクインした。大勢の同期生がエキストラに動員された。

この映画化を記念した「ミスからたち」に選ばれたのが才色兼備の服部尚子さん。立花家ゆかりのお育ちで、今なお瑞々しい容姿を保たれておられるのは流石である。

卒業後、活躍したのは「長崎は今日も雨だった」で一世を風靡した「内山田洋とクールファイブ」のリーダー内山田

道生君。今なお、作曲家、音楽指導者として、また各地での演奏会にと熟年パワール全開。

そして、大きな体での惜しまぬ行動力と、細やかな気配りで、郷土柳川の再生に日夜、大奮闘の河野弘史市長。五月、東京で開催された福岡県人会では、法被を着て率先して郷土産品のPRに汗を流していた。その姿は心強く頼もしかった。彼の知力・気力・体力できっと柳川市に「活」を入れて呉れると期待している。

さて、高六回卒業業の同級生の皆様に本会報をもってお知らせいたします。しばらく途絶えていました高六回卒業業「三稜会」を左記の通り開催いたします。別途ご案内状を出いたしますが、今から予定表に入れておいて頂きたい、多数の方のご参加をお待ちしています。

三稜会東京同窓会(伝習館高六回卒業生)	
日時	平成十五年三月八日(土)
	正午(十二時)
場所	ホテルグランドパレス 千代田区飯田橋一―一―
会費	男子 10000円 女子 9000円

## 一風かわった同期会

高7回卒 田中敬之助

高校7回生の東京同期会が11月4日、九段下のホテルグランドパレスで行われた。7回生は、昭和44年から、毎年ほぼ1回の割りで同期会を行っているが、今年少し趣を変えてやることにした。今までは、2〜3時間の宴会をやつて、ハイ解散。後は2次会で、また飲む人、喫茶店で更に話続ける人、さまざまだったが、今回は飲む食べるより歩くことに重点を置き、健康的な同期会にしようとして計画した。

11時30分に20名の参加者がホテルに集合、バイキング方式の昼食をとる。事前に予約していたので、我々だけのテーブルが一般客と別の部屋に用意されており、よい雰囲気で行うことができた。13時30分から近くの名所を散策。順路は靖国神社↓北の丸公園↓千鳥が淵と少し予定より時間をオーバーしたが、5時間あまりを楽しく過ごすことができた。





## 「ムツゴロウ会」のつと

高9回卒 石橋(古沢)淑子

私たち高九回卒「ムツゴロウ会」は、東京近郊在住の約五十名で構成された愉快な学年会です。毎年十一月に集まり親睦を深めてきました。その間には転勤、転職、その他諸事情によるメンバーの入れ替りも多くありました。しかし年金生活に入る年齢を迎え、メンバーの変動もすっかり減り、定着して来たようです。この会のメンバーは外見 柳川風紳士淑女にて、秘めたる情熱 有明海より深く、氣質 筑後平野の如く広くおだやか、が特徴です。

私たちは昭和二十一年四月小学校入学の民主主義教育一期生です。男女平等、仲良く助け合おうのかけ声の下、臭くてまづいスキムミルクの給食で育ちました。という訳で若い頃は何かにつけ戦後っ子と評された私たちでしたが齢と共に風格も備わり、中身の濃い堅実な常識人に成長しました。今や九回生は熟年時代をまっしぐら堂々と胸をはり前進しているところですよ。これからも心の通い合う暖かい「ムツゴロウ会」が続いていくことでしよう。

※平成十四年度ムツゴロウ会のお報せ  
十五年二月に一泊の温泉旅行を計画しています。詳しくは後日ご案内が届くことになっています。担当は橋本さん・広松さんです。

## 「柳川同期会」のご紹介

高10回卒 内山秀生

### ①そもそも：

昭和56年私が千葉で勤務している時千葉在住の大島(田中)喜代子さん、中村(鳥巢)廻子さん、西原種重君の同期4人が久しぶりに会いました。次に昭和58年11月矢ヶ部英夫君が千葉勤務になったのを機に更にメンバーが増え前記の3人に加え野田(海北)邦子さん、平野善行君、江口武君も加わり8人で昔話に花を咲かせました。

「また集ろう」と約束しながら転勤等で3回目为实现されぬまま4年が経ち、昭和62年、「千葉だけに限らず首都圏の同級生に声をかけよう」ということになりました。

この時点で伝習館卒にこだわらず「柳川んにきの出身の同級生」ということになりました。

### ②第一回「柳川同期会」の感激

第一回は昭和62年5月(母の日) 原田智昭君、矢ヶ部英夫君、大島(田中)喜代子さん、中村(由布)紀子さんの4人が幹事となり、なんと「ホテルニューオータニ」で開催されました。

会社、近所で話題になったとき「どこで開催しました？」と聞かれ「ホテルニューオータニでやりました!!」と言えは胸も張れる……という幹事さんの配慮もあったようです。参加者は26名で柳城中、

伝習館でつながっていました。

中学卒業以来32年高校卒業以来28年ぶりに会った感激は今も忘れません。

名札をジーツと見て学生時代の顔を思い出し「アーツ!!」という声があちこちで飛び交いました。頭が白くなった人、薄くなりかけた人、肥った人さまざまいましたので……。

### ③第二回以降

第二回目からは男女各2名を幹事とし、持ち回りで決め、開催日は女性が出席しやすい「母の日」としました。

年々「あん人の住所が判ったとよ」とか「〇〇さんに連絡のとれたとよ」とかでメンバーはだんだん増えて行きました。

### ④雲仙普賢岳爆発のとき

平成3年6月雲仙普賢岳が爆発した頃、池田睦雄君、古賀信義君、武田信人君等と飲んでいた時、話が災害の話になりました。武田君が「昭和28年の大水害の時おっどんな毛布ば見舞にもろうた」といいました。それをきっかけに「おっどんも50才、ちっと世の中の為になることばすーか？」ということになり、同期会のメンバーに義援金を募ることにしました。多くの同期生に伝えてもらい133000円が集まりました。長崎県東京事務所を訪ね「私達の小学校の修学旅行は雲仙でした。」と「柳川同期会」なるものを説明し義援金を渡しました。軽い気持ちで声かけたのに多くの人から送金があり「俺達のメンバーはほんとによか人ば

っかりやね」とつくづく思いました。

### ⑤最近では

現在登録メンバーは男性35人、女性38人 合計73人です(うち80%が伝習館卒) 一時に比べ少し減りました。定年を迎え首都圏を離れる人がいるからです。メンバーの中では中島哲夫君をリーダーとした登山グループ、森永邦彦君を幹事としたゴルフグループ、親しいメンバーでの旅行グループ、下川江那(清子)さんが出演する「手織座」観劇グループ等例会以外でのつき合いも盛んになっています。

最近の特長は定年になり仕事から解放されやと参加できるようになった人がいること、又立花寛茂君(同窓会長)をはじめ川口圭之君、吉開史朗君、岩井義紀君、平野(宝珠山)絃子さん、中村(由布)紀子さん、それに柳城中におられた袖崎先生等柳川(福岡)から参加するようになったことです。理由は「東京さん行かんぎつと会われん人のおるけん。」ということですよ。4、5年前から例会を5月第3日曜に変更しました。「母の日」は孫達が遊びに来て出にくくなったという人が多くなったからです。久しぶりの柳川弁で盛上る年一回の柳川同期会、今年も17回を迎えます。皆が元気で集い長く続くことを願っています。

# 東京35会のお知らせ

高11回卒 北原博

2002年10月12日

亡き友を偲ぶ東京35会

遠くから、近くから53名参集されまし

た

★パーティ参加者53名でした。

亡き友を偲ぶセレモニーの後、宴会に入りすぐに、新しい仲間内同士・クラス同士・40年ぶり会った仲間同士あちこちで談笑が始まりました。写真担当の酒井君は大忙しでした。

懇親会担当の徳永君の素晴らしい司会で、お一人お一人近況を話してもらい、その後指名された人の仮面姿に、高校時代をズーと廻り、まるで幼稚園児の童心に帰ったように会場は爆笑爆笑で最高に盛り上がりました。

カラオケの時になると、歌声がかき消される程で、5時から5時間あつという間の時間でした。

よくもこれだけ喋ることがあるなと・喋り足らなかつた人は是非次の機会に。

■会場で拾った懐かしい会話を収録してみました。

あなつつあんに会いたかーと思うて、いかじゃこてーと思うて来たったん。

あのくさん、九州と日の出日の入りが、いけしこ違つとるやろうか、朝おぞんでびっくりしたたん

幹事さんほうごつてしたねー 会長

のえーさつは、ばさらかよかたよ

あなつつあんは、ちつとんかわつとらなたい、高校生時もえーらしかったもんね、しーとつたたい

おりもあいなけ座らしてくれんの 顔はわかるぼつてん名前がでてこんもんねー

ぞうたんのこつ、そげんかこつこのあつたかんも、おぼえとらんもん

定年になってどげんしよつとねー、どろころしとつたん

今日は、ばさらかよか天気で、ぬつかたねー 酒あるしこもつてこんね

誰かうしねもんしとるばん あしては、どつあん行くかん 九州の35会に、こんだくるかんも

今回は、九州からたくさんの方が参加されました。やはり原点は柳川にあり！写真をお送りします。一人でニヤニヤ？それとも電話で笑笑？

## ★ゴルフ参加者16名でした。

組	スタート	メンバー		
1組	AM8:00	境良典	佐藤輝代子	吉開毅 ※東征一郎
2組	AM8:06	森田正昌	高田紘一郎	高口功二郎 ※平田正明
3組	AM8:12	岡義章	鶴修輔	中村洋康 ※徳永雄三
4組	AM8:18	中村紀子	森啓	北原博 ※西田孝行

## ★会計報告

<b>■収入の部</b> 452,532円→東京35会32名×9,000円+以外21名×7,500円 +田北君1,000円+ゴルフ残金6,032円
<b>■支出の部</b> 422,777円→パーティ費用329,340円+ 遺影・当日写真61,392円+通信費等32,045円
<b>■残金の部</b> : 29,755円→写真送付代等・残金は次回へ繰越

# 昭和36年卒・12回生の 還暦同窓会

高12回卒 橋本寛治

薫風さわやかな10月13日 御花で昭和36年卒・12回生の還暦を記念しての同窓会が盛大に開催されました。

今までもにも還暦を祝しての同窓会を開催された学年は多いと思いますが私達12回生のそれが一番盛大であった事を自慢したいと思います。またこれからも多くの学年が同窓会を開催されると思います。私達の記録はもう破られないのではないかと思います。

私達の同窓会が大成功となった理由は地元柳川の世話人たちが大変仲良く団結していたことです。一人の力など大したことではありません。中心者に何人かの人がいて、ここを合わせて真剣に取り組みかどうかそこに成功か否かの鍵があったといえます。

当日の経過報告で聞きましたが2年前から運営委員会、実行委員会を立ち上げその下に各種委員会をつくり地元の全員がながしかの委員会に所属して頑張ってくれました。1カ月位の短期であれば何とかなるでしょうが2年という長丁場になると同窓会に対する想いは各人の置かれた生活環境の中で当然に温度差があったわけでしょうから大変であったろうと思います。

さて、私達の同窓会はネーミングが素敵でした。『あなたに逢いたい41年目の

大同窓会』どうですか！このネーミングに誘われ高校時代にあこがれた、切ない片思いを寄せたあの娘にあの人に逢いたいと多くの友が集まりました。勿論その陰には行方不明になっていた人達の住所をあらゆる手段を使って探し出してくれた地元メンバーの献身的な努力がありました。

当日の参加者は同級生が271名、恩師が10名、合計281名でした。100名代が集まった同窓会は過去にも何回かあったでしょうが200名を越し271名も集まった同窓会は過去には無かつたと思います。どうでしょうか。幾多の同窓会に招待され出席されてきた恩師は異口同音に今日の同窓会は凄いい、立派だと証明してくれました。

281名の記念写真撮影は準備が大変だったろうと思いましたが、まだ出来上がった写真は見ておりませんが一人一人の表情の判別はおそらく難しくかろうと思いません。参加者を並ばせる役員はハンドマイクを持って汗だくになりながら本当にご苦労さまでした。御花の玄関前に整列しカメラは道路をはさんだお向かいの2階にすえつけられていました。車の通行の整理をしたりしてのあまり経験をしたことのない記念撮影となりました。

母校・伝習館で『はなみずき』の植樹、還暦の神事や川下り、《祝還暦伝習館12回生》の文字が鮮やかに浮かび上がった仕掛け花火とそれに続く大輪の打ち上げ花火は近所の人達も何事かと驚く程のものでした。

旧交を温め次の再開をお互いに約束しあった同窓会そして健康に気を付けて長

生きしようと絶叫した同窓会アトラクションに大笑いした同窓会東京からも37名が出席した本当に大感動の同窓会でし

## 予告！ 高13回卒業還暦記念 同窓会に参加しましょう！

高13回卒 田中利道

還暦を記念しまして、昭和37年卒業の  
伝習館東京同窓会の準備を進めておりま  
す。

正式案内状は8月下旬に発送の予定で  
すが、本会報の紙面をお借りしてあらか  
じめお知らせいたします。

皆様お誘いあわせの上、多数ご参加い  
ただきますよう幹事一同心からお待ち申  
しあげます。

(予定)

①期日…平成15年10月4日(土)

pm 5:00

②会場…東京プリンスホテル

(東京都港区)

③会費…7000円程度

④幹事…石橋正通、田中利道、松本巖、  
山田孝輝、原田(立花)万紗子、

松本(工藤)文子

⑤その他…前日(3日)山梨県河口湖町  
に宿泊した有志による「富士山の見え  
るゴルフコース」でのプレーも企画し  
ておりますのでご期待ください。

## 高16回卒の皆様へ

高16回卒 梶島正司

昭和40年高16回卒の皆様、ごぶさたし  
ております。卒業して約38年、以来一度  
も顔を会わせないうまま仕事に家庭に忙殺  
されてしまったような気がしております  
最近です。

名前に御記憶があれば幸いです。現  
在梶島正司、安倍環江(旧姓松藤)、水  
澤昭子(旧姓田中)の3名が東京同窓会  
学年幹事として年数回の幹事会に出席し  
ております。高校時代の3年間は劣等生  
(梶島のみ)であったにもかかわらず厚  
顔にも学年幹事をおおせつかり、少しで  
もお手伝いができればとの考えや、学生  
時代の罪ほろぼしの意味もあり、このよ  
うな次第になった訳であります。

2年前の或る日、柳川市細工町長栄寺  
の住職、村上義法君から自宅に突然電話  
がありました。「東京同窓会に16回卒は  
誰も手伝っていない。誰か出てくれない  
とまずいから梶島、手伝ってくれ」と云  
うものでした。

頼まれれば嫌とは云えないのが九州柳  
川気質、その様な訳で引き受けてはみた  
ものの、やはり仕事との兼ね合いで1人  
ではどうにもならず無理を云い易い、安  
倍さん、水澤さんに頼んで参加していた  
だけ、只今トロイカ体制の16回卒学年幹  
事となっているのであります。

梶島は東京勤務の横須賀在住、安倍さ  
んは鎌倉勤務の世田谷在住、水澤さんは

横浜在住です。これを機会に再び交流の  
輪が広がれば我々も学年幹事を引き受け  
た意義があったと云うものです。16回卒  
の皆様あるいはその前後に卒業された皆  
様でも結構です。近況でもお知らせ願え  
れば有難く存じます。

かさねてのお願いで恐縮ですが、  
東京同窓会よりの連絡、あるいは「替  
助会費協賛のお願い」等も届いているこ  
とと存じます。可能な限りの御協力をお  
願い申し上げます。

幹事会にかかる時間と費用は幹事各自  
の手弁当ボランティア、我々3名だけで  
なく、会長、副会長、各学年幹事諸代に  
は全く頭の下る思いです。この様に善意  
の集まりでやっておりますので返事が届  
くだけでも報われた思いがします。よろ  
しくお願い申し上げます。

日本は構造改革、消費不況等で大変な  
時代になりましたが、柳川は昨2002  
年市制50周年の節目で賑わったよう  
です。  
皆様の御多幸と御健勝を祈念して  
おります。



## メールで連絡を！

高35回卒 山口英治

高35回卒の山口英治です。現在横浜在  
住です。35回卒では昨年よりML(メーリ  
ングリスト)を始めました。在関東の卒  
業生だけでなく柳川や海外在住の同級生  
と一同にメールで連絡を取っています。  
現在60人位の方が参加されています。35  
回卒の同級生の方は山口まで連絡下さ  
い。iモード等もOKです。

045178218502(TEL&FAX)  
メール densuskan35@freeml.com  
又は yamaguchi@secom-equipment-  
sales.co.jp  
でも受け付けます。

10月の会合(居酒屋北海道品川インテ  
ーシティ店にて開催しました)参加者は  
以下のとおりでした。石橋和典、池上英  
次、熊本美紀、藤田卓三、松石香洋子、  
山口英治、吉原浩

35回卒の同窓会を1/24(金)夕方より  
東京駅近辺にて行います。  
場所、時間未定です。出席可能な方は  
山口英治  
TEL&FAX 045178218502  
携帯 090-78218502までご連絡  
下さい。

# 故郷トピックス



三明橋の上から。沖端川は木造船が行き交い、船着き場には沢山の家族がリアカーを引いて迎えに来た。(昭和30年代後半)

## 大林宣彦監督らゆかりの16人

柳川市は市制50周年を記念して市ゆかりの著名人や実業家らに「柳川観光大使」を委嘱した。柳川を舞台にした映画「廃市」を監督した大林宣彦氏と「柳川

**柳川市**

掘割物語」を撮った高畑勲氏や、東京で郷土料理店「有薫」を経営する高山亀雄さんら16人で、今後、水郷・柳川をさまざまな場所でPRしてもらおう。

そのほかの「柳川観光大使」は次の通り。(敬称略)  
 エ・ハン・デラヴィ(翻訳家)、緒方村男(緒方財団理事長)、梶島正司(衣料品会社社長)、川口融(新エネルギー財団副会長)、篠原修(工学博士)、高山佳子(声楽家)、田中(はべ) (演

また、六日に行われた市制50周年記念式典では市政功労者として、特選、原達郎(作家)、別功芳に前市長の小宮徹氏のほか、全国高校野球選手権大会に七回出場した柳川高校など、スポーツ・文化など八分野で活躍する五団体と二十人が表彰された。

2002年10月8日26面 西日本新聞

# 「柳川観光大使」に委嘱

## 「水郷各地でPRを」

市制50周年記念

出家、西岡徳馬(俳優)、萩原繁満(郷土料理店経営者)、原達郎(作家)、原田良康(会社社長)、山本健二(声楽家)、與田博利(会社役員)

## 県が「区画整理事業」認可

# 西鉄柳川駅に東口開設

三橋町

12年完成を目指す 広域観光の窓口

柳川地方の中心都市作りを目指し、三橋町が一九七九年から進めていた西鉄天神大牟田線柳川駅東部地区の区画整理事業に三十日、県の認可がおりた。対象地域は、西鉄柳川駅東側の約二十六・三歩同様に東口を開設、駅前商業ゾーンを整備する。基幹道路も整備、商業ゾーンと住宅地を結び、総事業費は約九十六億円で二〇二二年三月完成を目指す。新たな玄関口の開設は、周辺市町の観光・商業に大きな影響を与えてきた。

計画では、約四千四百平方メートルの駅前広場を整備。周辺を商業ゾーンと走る予定の高規格道「有明海沿岸道路」(大牟田大広場と沿岸道路、三橋京業地などを整備する。地川線)を根幹として、①町通り線(国道443号)をつなぐ下百町線の整備(い)としている。

②柳川市役所と三橋町役場をむすぶ三橋築紫橋線東口開設と関連道路網の整備で、三橋町は「観光や商業の求心力を強化、広域交通拠点を目指した」としている。

今回の区画整理事業対象地は、柳川地方の中心地である。西鉄柳川駅の東口開設と関連道路網の整備で、三橋町は「観光や商業の求心力を強化、広域交通拠点を目指した」としている。



西鉄柳川駅東口が開設される、三橋町の柳川都市計画事業で区画整理される柳川駅東部。後方は大牟田方面

## 市町合併を考えよう

### 1市5町の人口と面積

(人口は平成12年国勢調査より)



「市報やながわ」より

2002年8月1日22面 西日本新聞

# 宿泊客6年ぶり増加



3月のおひな様水上パレード

柳川市は、平成十三年の同市(一部三橋町含む)への観光客数が百七万二千八百人だったと、四日までに発表した。前年を一・七%上回り、ピーク時に迫る過去四位。減少傾向が続いていた消費額は四年ぶり、宿泊客数は六年ぶりにそれぞれ増加に転じた。九月の米国テロ事件の影響で国内旅行の需要が増え、その客足が九州方面にも伸びたようだ。

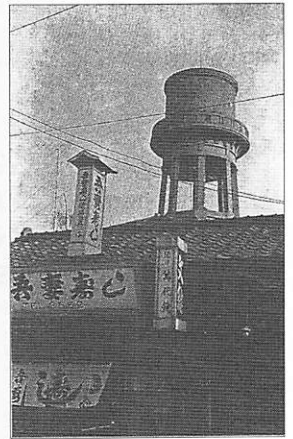
同年一月から十二月まで、生家、柳川簡易保険保養 降客、観光施設駐車場の数、ホテルなどを調べた。観光客数はこれで七年連続増加。ピークの平成三〜五年のレベルに迫ってきた。過去最高は四年の百九十九万七千人。三位は二年の百一十一万七千八百人。

## 観光客107万人17%の伸び

13年 川下りは40万人の舞台に

消費額は、五十五億二千九百四万円で、平成十年から続いた減少傾向に歯止めがかかった格好。宿泊客数は七万八千七百四十七人。八年から続いた下降曲線が底を打ち、上昇に転じた。

川下りの終点にある御花は、鉄道に客数を伸ばし、これまで最多だった平成四年を上回る。一九九

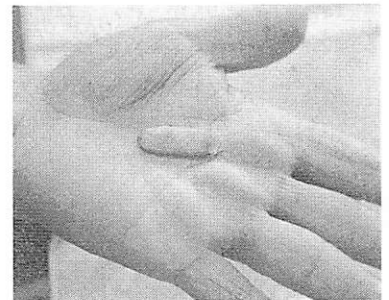


伝習館北側の片原町にあった水道タンク。昭代からでも見ることができた。(昭和30年代前半)

2002年6月15日3面 有明新報

## 筑後川にアゲマキの稚貝

有明海で絶滅状態 「見たのは10数年ぶり」



有明海の筑後川河口で採れたというアゲマキの稚貝

柳川市筑紫町の筑後中部魚市場に十八日、「地元でアゲマキの稚貝を見たのは十数年ぶり」と感激している。アゲマキの稚貝一個を搬入。同市場の元市場長で「有明海を育てる会」会長の近藤潤三さん(72)＝同市沖端町＝が「地元でアゲマキの稚貝を見たのは十数年ぶり」と感激している。アゲマキの稚貝は長方形の二枚貝で、殻の長さは約二センチ、幅は約一センチ、厚さは約二ミリ。殻の内側は白色で、外側は褐色。有明海では、昭和の終わりに平成の始めごろが最後で、以来見えていないと話している。

に数多くいたが、タイラキなどが同様に、ほぼ絶滅状態。現在は長さ約十センチ。現在、食されているのはほとんど韓国産。筑後中部魚市場に持ち込まれた稚貝は、筑後川河口で採れたという。長さ三・五センチの稚貝。有明海の状態に詳しい近藤さんは、有明海では昭和の終わりに平成の始めごろが最後で、以来見えていないと話している。

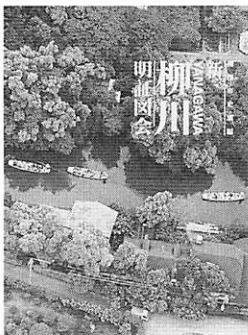
## あったかい「こたつ舟」はいかが? 柳川市



こたつ入りのドンコ舟に乗って川下りはいかがですか? こたつ舟は2月末日まで運行されます。詳しくは、柳川市観光協会 ☎73-2145まで

「広報やまと」2000.12より

## あのころを振り返る



### 柳川市史別編 新・柳川明証図会 ついに刊行!

写真をふんだんに用いて、柳川の今と昔をわかりやすく解説した本です。A4版396ページ、ケース入り。3000円(税込み)。10月中旬から、古文書館や市内書店で販売予定です。問い合わせは柳川市史編さん係(☎72・1275)までどうぞ。

「市報やながわ」より

## 第16回大川木の香マラソン大会 大川市

- ▶ 期日 平成15年2月23日(日) ▶ 場所 筑後川総合運動公園
- ▶ 種目 10km・5km(男女とも) ▶ 参加資格 20歳以上
- ▶ 参加料 3,000円 ▶ 申込締切 平成15年1月16日(木)まで
- ◎ 大川市民体育館 ☎(88) 3212

「広報やまと」2000.12より

## 大きさにビックリ!! 大注連縄送り

### 高田町



夜明け前から法被姿の男たちが6mの大注連縄をかつぎ、はやしとともに練り歩きます。 ▶ とき 12月25日(水)午前8時頃奉納 ▶ 場所 上橋田天満宮 ◎企画課 ☎(22) 6263

「広報やまと」2000.12より

## 次号予告

- 東京同窓会の歩み〔その2〕 高2 松永 肅
- ほんに不思議じゃったバンモ 高7 田中敬之助
- 実の兄と想っていた壇一雄〔壇一雄と私〕 中53 古賀和典
- 私立伝習館・県立伝習館思い出の事ども  
(伝習館創立七十五周年記念号より) 初代伝習館々長 立花政樹
- 伝習館野球部入部顛末記〔「東京星座」より〕高2 山田銀一郎
- 総会へご提供の郷土関係物産紹介〔その2〕 編集局
- 郷土関係図書紹介
- その他

## 募集中!

1. 表紙絵・表紙用写真
  2. 原稿—伝習館OBならダッデンヨカバンモ
- テーマ—自由(同窓会報にふさわしいもの)
  - 小説・随筆・詩・短歌・俳句・川柳・絵画・写真・絵手紙、書など
  - 字数制限なし(極力四〇〇字詰め(20×20)原稿用紙使用)
  - 写真・絵・カット添付可
  - 表題・投稿者氏名・卒業年度・総字数を書いて下さい。

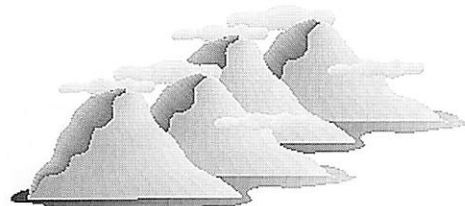
### 原稿送付先

〒344-0032

春日部市備後東8-8-32

伝習館東京同窓会 小野 善睦 行

☎・FAX 048-735-2431



## 編集後記

○学年幹事の皆さんを中心としたご協力により何とか素人集団の編集委員で創刊号をお送りする迄にこぎつけました。目標の、平成十五年の正月元旦に、皆さんのお手元にお届け出来たと自己満足しております。

○内容については次号以下更に改善して参りたいと思っておりますが、約三千人の東京同窓会会員の中には、プロの編集者もいらつしやるのではないでしようか。適切なアドバイスなりご協力を賜れば幸いです。

また、編集に参加したいという方がありましたらご一報下さい。

○郵送に係わる諸経費の関係もあり、毎月6ヶ月毎のペースで、30ページ程度を目処にお送りする予定で居ります。

○学年毎の同期会の連絡や結果報告、学友への呼びかけ、毀誉褒貶? のお知らせ等々気軽な通信手段としても発行月に合わせてご利用下されば幸いです。

○現在の編集委員は次の通りです。

編集委員長 小野 善睦(高2)

江崎 正直(高2)

松永 肅(高5)

永倉(跡部)素子(高10)

内山 秀生(高10)

原田(立花)万紗子(高13)

発行責任者 江崎正直

〒156-0043

東京都世田谷区松原3-39-25-801

伝習館東京同窓会のホームページを作成しました。(山口英治 高35)

ホームページアドレスは以下の通りです。

<http://www.asahi-net.or.jp/~dv4h-fior/densyukan.html>

YAHOO等の検索エンジンで「伝習館」と入力すれば探せます。

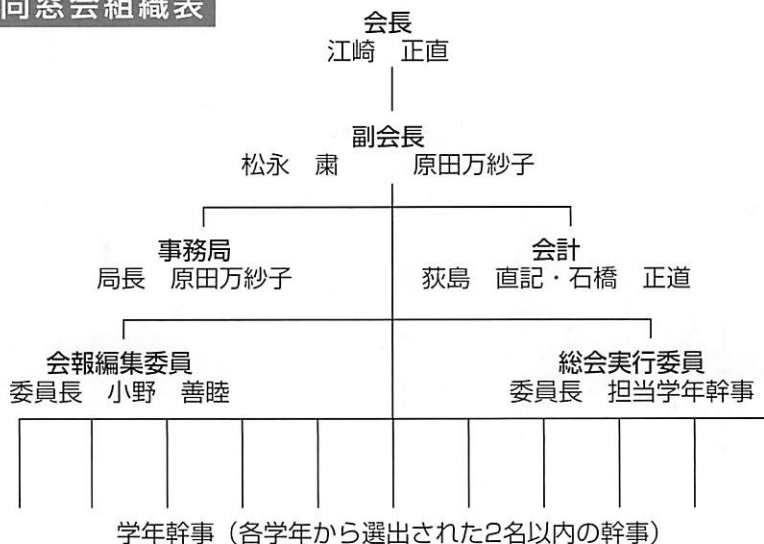
それでも「見つからない」という人は管理人の山口 [cafe.yama@ak.wakwak.com](mailto:cafe.yama@ak.wakwak.com) まで、メール下さい。

# 伝習館東京同窓会会則

平成14年7月21日

- (名称) 一 本会は伝習館東京同窓会と言います。
- (目的) 二 本会は会員相互の親睦と融和を図ると共に母校の発展に資することを目的とします。
- (事務局) 三 本会の事務局は次の場所に置きます。  
〒170-0003 東京都豊島区駒込三丁目3番9号 千鳥屋 内  
伝習館東京同窓会 事務局
- (事業) 四 本会はその目的を達するため以下の事業を行います。  
1 総会の開催  
2 同窓会誌の発行  
3 母校事業の後援等  
4 その他本会の目的達成に適切な事業
- (会員) 五 本会は福岡県立伝習館高等学校、中学伝習館、柳河高等女学校、高等学校伝習館(含む併置中学校)、柳河女子高等学校(含む併置中学校)卒業生並びに一時在籍した者を以って会員とします。
- (会計) 六 本会の会計は会員の会費、寄附金品等を以って運営し、毎年1回、幹事会においてその収支を監査します。
- (役員) 七 本会には以下の役員を置きます。  
1 会長 1名  
2 副会長 2名以内  
3 事務局長 1名  
4 幹事 若干名  
5 会計 2名
- (役員の選任等) 八 会長は幹事会の推薦により総会で決定し、副会長並びに事務局長及び会計は幹事会で、幹事は各卒業年度の会員の互選により2名以内を各選任します。
- (役員の任期) 九 役員の任期は4年として、その再任を妨げません。
- (総会) 十 総会は2年に1回開催します。会長は総会において会計を報告します。
- (付則) 十一 本会則は総会の決議により改定出来るものとし、本会に必要な細則は幹事会で別途定めます。

## 東京同窓会組織表



[内 訳]			
会員数	2608名	中学伝習館	37学年 237名
学年数	128学年	高等学校伝習館	1学年 16名
学年幹事数	57名 (33学年)	併置中学校	2学年 15名
		柳河高等女学校	29学年 213名
		教員養成科	3学年 10名
		柳河女子高等学校	1学年 3名
		併置女学校	2学年 18名
		伝習館高等学校	53学年 2096名

会員の移動は事務局までご連絡下さい。

平成14年7月21日 現在



伝習館東京同窓会事務局

〒170-0003 東京都豊島区駒込3丁目3-19 千鳥屋方

TEL 03(3915)0865 FAX 03(3918)8139

<http://www.asahi-net.or.jp/~dv4h-fior/densyukan.html>